名所便覧　上

ル3
1151
1

京都帝國大學圖書
清水濱臣藏書
特
門 ル 呂 3
號 1151
巻 1-3

一

名所便覧

伊行

清水濱臣藏書

岩橋

此下八廿一代集不載

大和

拾遺

いはしのよるの契もたえぬへし
あくるわひしきかつらきの神

久米路ニワタス1

橋 君 雪

石之山

近江

新古今

いさみとるいはまの山の椎柴を
何てさいつる万代のさ枝

月

新撰朽木集之留氣物不記不記外字

アカネサス 山カツラ 麻 雪 天宝5

色濱

此下八 日本紀旧事紀古事記万葉六帖
夫木廿一八集 百家集 不載

越前 八雲 夫木

伊勢集

山家集

西行 雪

汐のそむる色のこ貝とひろふなりとも
おふのうらにひろふなんとさらん
赤不そむるますとのの貝拾ふとて
色のこかへといふなりあらん

色川

名寄

山城

かれぬはよるかたにあるとはなりには
いくらそへての色からうらん

岩神

山城

岩隠　山城

後拾　いは隠のゝをこゝろまかせて　うれゆふれのむちきしれ

か
卯花　氷室　鶯　苔　ゝ　雨

石墻沼

横山拾遺
新古今　上北く

とへいそうに清水石かきのみちのほそ
定頼　名取にあらすあとゝいさきけん語ぬり

拾遺　ゆく中戸のいそう紀沼のこうのりよ
人のうちをてうを月ゝけ

石田　山城

羽花　みちのいろくれのりのゝをまゝも
人めとをてうを月ゝけ

杜　小野　菫　雉　月　柞　一ノ　時雨
風　薄　麻　雪　芝

か
山シナノ　スメカミ　ヨフフる　ツヽシ

・玉吟集

清輔　岩くこの杜乃下水心うけ
たちる人れさむゝうら
岩くゝをたのむひゝよい世中る
かりゝゝてるゝつら

石田野　壬生

和名石田郡

万葉十五　石田のこ中ゝ考ゝ宗いゝ人乃
いつくよ家をとりいふらん

石田のこうしその杜　未詳

清少納言枕草子　杜いゝゝのこうしその杜
る一本何をいゝる名有るそ

伊波多山　未詳

清少納言ゑいしゝ

岩田小野　美濃

最　柞原　鶉　女郎花　子苗
萩　蘭　葛　子家

千載　今しもるいてゆゝんあつさ後乃
いゝさ北をの志ゝをとるゝ紀

葛

磐田　紀伊

続拾遺　いゝさ川りゝんのなゝ先ゝえ
浦と表と波のえ渉めや

川　岸　五月　松

か
果ゝ紀側　万葉よゝり　武々川　駒
家集

磐余　大和

拾遺　なれてとをいそれの池のうえあるは
うきゝのいたゝをなゝれ

池　此　萩　鶉　女郎花　沼縄

石田里　尾張

夫二十一　今まゐいろの里れあるゝをと
ゝさむよふゝえ衣うつらん

岩山　未詳

夫木九　荒ゝて果のゝまて定ゝ
名所よいあるさへし
いゝ中アの志え乃ゝさされゝとて
ゆゝひゝよ久ゝ神とてゝめや

岩滝　名所

伊勢歌　伊波多神社アリ

康治奈
長能記　昔ゝり岩ゝゝゝいゝるゝ紀乃
つ川のしゝ本いゝ久ゝらん

岩根池　未詳

岩根岸　紀

名所丹波

石川　磯
名所　ゝ家

北カテノ君子ノキミノツスヘミ
君カアレナトオモホエルカナ
詞ニ紀アこ有りてく

・夫木三　くゝて志る人いあゝしゝ北すゝと
いゝゝゝいゝゝのいしゝいさゝゝ

奈 児手柏を コトナシ草 萩 麻 鴨
川 ゝ 邑 蒋 角サハフ ミナシダフ モミツフ
ゝ乃 玉桙ゑ ケイタイ 稚 楢 宮 リ中

石根山　近江

新千載　いはね山あをばまじりの山ざくら
なほしのばるゝ花のいろかな

夫巴一 水木大
葉 菊 松 蔵 池 杜 探 郭公 ゝ村
岩根山
わがきみのちよのすみかの岩根村の
苔の代までも

石花山　近江

拾遺　　玉葉 山城とも
うごきなきいはほの上に君が代を
まつはいはひて あらたまの
ときはなる いはほの山の代を
うごきなくのぞむ君がかずに
右二首 初ハ安和元年大嘗会 風俗哥
後ハ天禄元年大嘗会 風俗哥ナリ 玄ニ
蒲生郡ニ石花山とよめるを山城とするは
誤なり

岩根森（岩根杜）　尾張

堀川院
後鳥羽院
岩川のながれてものをおもふかな
岩ねの森のふかき心を

つれなさをいはねの杜のかひもなく
あらはれはてゝ君にしらるゝ
新撰ニハいはでの山のいはねなる

岩沼川　未勘

夫木
中絶し水のひびきやたえぬらん
いはぬま川のこほる山風

岩村山　大和

万三
ゝ倍
其沖云村ニムレトテ 磐余ヨリ
角サハフ 道 キノウヘテ モ
浅茅の生ふる岩村山にもすずしろの
いつも色かはらぬ松の木

岩井里　未勘

夫三十一
歌人はいはゐの里にすみしかど
ながれの水をかけまくもなし

岩間罠

石蔵　大和

新勅撰　たまきはる山城とも
　　　　楢山とも
足引のやまの山乃ひとつ葉
さすがにきのはのこゝろなりけん
此ハ応徳元年悠紀の屏風哥にて石くらの
悠紀をよみたりしは上の哥とは別

新後拾遺
雨すさぶ秋のよの人まつかひの
いはくらの山
是ハ万寿元年七石くらのとの国秋の主基の
まつりもあやしのしはなむひさとうか
よき秋の日はあきのわかれにもなる
まて大嘗会主基の歌よまれて石蔵小野をもはへ
なりし

夫木
山かげて麻はいはくらの
よめる秋の月をみよけの
いはくらの岩ぞいつもながれる
秋の月をかなりもしられけり
家持名寄

寶山　備中

磐國山　周防

堀川院百首　氷
敦本集 水牙(?) 名寄
流れゆく岩もうかぶさしのぼり
とけてうつくしき岩のしたみづ
たえまなくいはがねにひき氷やとけぬらん
ふくあらしの岩戸のくれとなるらん
此二首ともあしきを名寄にはあらぬなるべし

万葉四　玖珂郡
あは 周防なるいはくに山をこえんひは
たむけよくせよあらきそのみち
松本

石蔵　山城

夫九
ちはやぶる人の世やらむ社ある
岩くらの田中村の岩もまも
秋はまつらるるいまをそ

石倉村　備中

夫三十一
うたふなり世をさまよひとめぐる
村のもの人かげふして

岩手　伊勢

千載
うこきなく猶万代をいはふ[illegible]
[illegible]のきとしくもして

玉葉　仁安三大
神代より天の岩戸のうこきなき
君か代にこそいはふへらなれ

新拾遺三
岩手[illegible]を備ふへき[illegible]
三昧[illegible]の[illegible]のうつるまてこひ[illegible]
けるを[illegible]そて　伊勢大輔
[illegible]岩の[illegible]そおもひやる
秋風の[illegible]ふきて[illegible]

新拾遺
いはて[illegible]を備定心のいはてと
[illegible]まうて[illegible]のむて　後[illegible]
けるを[illegible]いて[illegible]
[illegible]のすゑ[illegible]
いはて[illegible]人もなし

石室洞
未考　古歌集　或いはやのわら
窟戸神　未知　未廿に
[illegible]代のつる[illegible]
[illegible]こそ[illegible]

石劔　伊勢

石劔川　筑前
未廿五
右[illegible]伊勢[illegible]
月[illegible]いは川山乃[illegible]
ひかりも[illegible]
[illegible]月[illegible]

未二十に
[illegible]のおなしくの名
[illegible]いはふち川[illegible]
[illegible]

石手道
天武紀に出伊[illegible]
通伊勢道なり
岩手杜　[illegible]
[illegible]
九段有此地名[illegible]
未知

磐手杜　桜　[illegible]

磐手　陸奥

続古今
岩[illegible]も[illegible]の[illegible]
いはての[illegible]

新葉　[illegible]
名
磐城
夫木　拾遺　[illegible]

千載
[illegible]いはての山[illegible]
[illegible]岩の[illegible]

山　埋木　若水　紅葉　五月雨　時雨
雲
里　新勅
[illegible]いはてか[illegible]
いはての里[illegible]
[illegible]里を[illegible]

夫木　実　[illegible]　杜　[illegible]
十[illegible]　[illegible]　一松

磐手浦　未知
続古今
[illegible]のいはての[illegible]
[illegible]

伊岐宮浜　伊予
岩手浜
伊岐手山　[illegible]
未知　源太三百集
大武三[illegible]
[illegible]
未廿五
[illegible]いはての浜の[illegible]
[illegible]

岩瀬渡　越中
和名越中石[illegible]
[illegible]　石西
未廿五
越中
未[illegible]
勅撰イハセノ日本[illegible]
[illegible]
五月雨
[illegible]

石城嶋　伊予
岩[illegible]
未二十三
[illegible]
浜
いはの[illegible]いはきのあ[illegible]
[illegible]

祝山　未知
祝里
未知　文[illegible]一
未二十
[illegible]
君か代[illegible]
[illegible]

磐坂山　丹波

續古今
いはさかの山のいはねにさくつゝし
よそにはさきゝ花のむらさき

夫木　家々　姫小松　猿（大峯）

磐城山　未勘　證歌讀合せ

新續古
ぬかたけの[illegible]いはきの山こえてかへて
人もこそしのひつまはあらん
先ハ万十二イハキ山ト讀ミナリ[illegible]
[illegible]
いつしもあれいその[illegible]
よそにいはきと讀合
[illegible]

夫木　石清水家八
いはつゝし[illegible]
いはきの山乃[illegible]（ツヽシ　三千　郭公）

石見潟　石見

祝島　周防（祝主）
万十五　夫　公ツル
家人ハ[illegible]いはひしま
いはひまつらん旅ゆく[illegible]
（文武ロ　君カヨコイル心ニテカセタル　イハヒミトハ沖ノ山名ナリ　春日社哥合）

唐濱　未勘
夫二十五
[illegible]唐のと戸舟[illegible]
[illegible]

五百重山　万葉　長懐[illegible]

唐戸宮　大和　孝霊帝[illegible]

唐井川　名所　神名帳　唐井神社（栗[illegible]）
夫二十四
あすかゐの井川乃[illegible]
[illegible]のみしつる[illegible]
[illegible]田

岩代　紀伊
拾遺
月影舟[illegible]深川
[illegible]
夫　[illegible]
ツノ浦　カラノ[illegible]　打夕山（千鳥）
[illegible]

拾遺
我もいえもいへしろの結松
[illegible]
[illegible]

[illegible]社　尾上　神　友[illegible]
夫　笹　岩山　濱
（花　松虫　[illegible]　一[illegible]清水廿[illegible]）

石清水　山城
後拾遺
[illegible]
[illegible]石清水
桜　月　[illegible]
夫　松社　若[illegible]
[illegible]石清水
（タエヌナカレ　チトセノカケ　[illegible]　菊）

廬添　橘戸
（イホリノミヤ　廬入也　イホノミヤ[illegible]）
夫十九
[illegible]
（大和　夫木　ヒノクニノ入ノハミヤノサエル日ハ　川セ氷リテ[illegible]モワタサス　宣化皇居）

家田松　伊勢
但[illegible]
夫十五
[illegible]家田の松[illegible]
[illegible]

家嶋　播磨（楫保郡　一一神社）
万四七　フケヒウラ　スキツム　山桜　家ツヒ[illegible]
いへのと[illegible]
[illegible]（ニホトリ　千鳥）

怡土濱　筑前（怡土郡）
一六[illegible]
[illegible]
[illegible]

石清水　山城

古今　君か代にあふ坂山のいは清水こかくれたりと思ひけるかな

磐瀬　大和

後撰　いはせ山谷の下水うちしのひ人のみぬまはなかれてそふる

山杜　足川　郭公　落葉　風
紅葉　村紅葉　雪　神ナヒノ　ナラシノ岳　三山
山川ノ
浦　渡　蛙　モノヽフノ　月　氷　故宮　秋
石タヽミ　呼子鳥　杉　小冷
呼子鳥　郭公　山ノトカゲ

石瀬野　越中

新拾遺　いはせ野に秋萩しのき駒なめて小鷹狩たにせてやわかれん

か　石フリツヽル　岩瀬山　下渡
シラスリノ小冷　ミシラフ　鳥　多端三　小川

伊登波川　モツナテ縄　舟

古歌　[illegible]

大木二十四　霰　氷

これぞ人たらちねいふ[illegible]
汲のさ[illegible]

綠川　陸奥

今案風土記伊勢ニ糸川セアリ伊賀ニ系川アリ

万葉二十四　[illegible]

あやのをはまさのの綿立かさね[illegible]

糸鹿乃里　紀伊

名紀伊國系原入之

大三十一　五月雨[illegible]

近考万七アシロミイトカノ山ノ桜花ヲ[illegible]紀伊

糸井川　越後

能因歌枕

盧原　駿河

風土記或伊保原　東限蒲原榎田塊西限西大宗山微両河南限美髪田子浦之間小限大平山

新拾撰　清見かた出て[illegible]の沖つ[illegible]

盧崎　駿河

清之[illegible]　仙覚抄枕字不[illegible]

新勅撰　[illegible]

此所[illegible]出井[illegible]抄[illegible]

松本　富士　清見[illegible]

盧崎

新拾遺　たれめてもこゑこの[illegible]沖つを何いはさきの松まふらん

糸井郷　但馬

うつ不撰　[illegible]人の[illegible]

大三十一　養父郡　但井

妹か[illegible]のさと乃たま紀山[illegible]

市原　山城

市川　山城　名寄ニ但下ニ出イ[illegible]

万葉集　人[illegible]の子ら
二葉なる[illegible]の小松[illegible]

伊勢[illegible]　越前

古事記[illegible]巻

[illegible]のこ[illegible]いつるいはれ
いちてさし

いなさきのこゑえのえたのつ貝 むふうかれていくよへぬらん

此哥ハ古今十二いなさきの誠きませいなさきの こゑえのえだはふちちきさんと以ふ歌かついて すよにりふく いなさきハいそのさきなるを いなさきと以れハ非名所

揖保渋

引蘇古　橘广

渋きたねえてきみハとうまかを おれたろとよちとりなくなり

糸鹿山

紀伊

か 濱伯山　麻广　露月　夕セノ往し

十弓　冊　五月五

金葉

いとふろ人たちに夕されり ふかきくもよするこころ

か 檮　青而　まつ七　下水　名京

アシロミ　苔衣　廿日　柳　郭公

麻　衣　松

市野濱

未勘

丈二十五

つくふいちの濱　はされいしの そたにまてのしつかさり

市師池

大和　十市郡磐余池別名

丈二十三

植ちふむち乃山をふ紀のつし いちての池にあまりしかこ

市師京

上野

名寄　楓乃宮

かきつけのいちし乃京にいつゆく 流れしえて人のなるかふ ふとふいさきハけぬるふなし

櫟津

大和

橘の松葉ハ紀伊　名美濃

添上郡

万十六

はすろへよいとをせこともいちひへ乃 ひりしあこんをろよあむさん

一志浦

伊勢

千載

月　雲　紅葉　藻　夕ホハ

いちしまやいちしの浦乃あさたちも うらね袖ハぬれしとのうえ

入日岡

未勘

濱右

か 松　笹

名京　時雨

りゆきのむしれたの京かくれく 入日のをたにそするくなり

大餅湯

養名

信濃

拾遺

きのこハまさひねくろ立ていね うひのとゆりハたそのりかりかり

一瀬

山城

名を

ふうにゆきまたの地乃なろる そのせまちうかもの川なる

一滝

一瀬山　伊勢

橘更紀常登祝を三山ヲハヒトリナイテハホトヽギス 我モミヤコノ人ニマツラン

楊津

誓求いちのきにたちて入てまちふるる

入江浦

駿河

新六　風アラキ海ノ沖ノ一ノスミニムケフ小舟ハハヤ入ニケリ

入江るを使りうらのむきしや いちのをみをとひてまちく

入江湊

未勘　但し非名所

国基集

さそのことまむとさそてそ入江のり ふまふかするて日りそ入ぬらん

入野

山城国乙訓郡入野アリ 丹波国
竹野郡納地神社延喜式ニ出ヅ丸
横山在ニ在ス 未詳

千載

さを鹿の入野の尾花ほのかにも
夕暮れのみそはてみらん

庶 旁 霜 月 鴨

太刀ノシリサヤニ 尾草 高野 萩 沢 里
鴨 翁 鴫 トモシ 世冊 紫 鹿
音 番 宗

入佐山

但馬

拾遺

霞 旁 子規 雲 照射 時雨

雪 埋木 梅 原 夕日 山アラシキ 月 麻 松 紫

伊香保

上野

一 夫二十三

入江

未詳 但云所名歟

人忘れあしたに月のみとく
入江のさなは秋風ぞふく

夫二十六

水鳥のいりえの浪のみとくて
あるひとりもかくとなるに

刀自歌 クレバキ イリノ垣ノ下ミチニ
専ガナリ ソテカハツナクナリ
地名ニ非ル

入立山

未詳

清少納言 山ハ いりたち

入間

武蔵 郡名

万十四

いるまぢの大屋が原のいはゐつら
ひかばぬるぬるわになたえそね

いせ物語

むさしのいるまの郡のみよしのの
たのむの雁もひたぶるにきみがかたにぞよるとなくなる

夫十一

拾遺

イフモ 五月雨

いかにせんいはれ沼のいふしく
恋しき人をいかにみまし

ハリ原 アヤメ 尾草 笠 月 蛙 蛍
ナギ 水鳥 雪 しげし 鈴 鳳
杜若

菖蒲沼のくれなゐのあやめ上なる

斑鳩

大和

拾遺

いかるがや富の小川の絶えばこそ
我が君の御名を忘れめ

未来

法あらし仏の御名はよこそ
とめゐるよりいかるがの里

和漢古今金剛山の寺でさえ

伊加之瀬

近江

名所和

よるの池 氷

大平山

近江

夫二十

りこ帝の大風の雲はららかに
あさ風さむき大ひらの山

未来

魚住浜

播磨

夫二十五

人丸集

天武紀

伊賀

伊賀中山

わがやどの梅咲きたりと告げやらば
いざと言ふに似たり散りぬともよし

雷山

大和

万三

古市歌

大君は神にしませば天雲の
いかづちの上にいほりせるかも

一山二子シキニス

夫九

伊香胡

常陸

古今
梶をあらき浪のつてきこゆれハ
いつかわかなとこゆる人

厂尾乞

伊香具 近江

新拾
あひそめしはいかこの海なれも
かへりや人をまちふこゝろハ

新
いかこ山のへに咲たる萩 あふ坂の関にあるさくのし

板田橋 大和

万十一人丸 ツハリノ
三市郡小墾田宮 小治田九 推古天皇之居 板字誤歟 今ハ張

小墾田のいたての橋のくつれなハ
続後拾ツハツハ
けたよりゆかんなこふるわきもこ

続後拾
五月雨

新
イ久川ゝ活 相模 秀

一 元真集
源仲夏

ひさおきいかこの浦乃つれ貝
あからふひかれあきまあるる
あかわことひるかのうれいつさに
いつてあひらん田子のうらみに

伊加江 未部

之言集
まえこ汚り
のみるてこ

流れいかのくまの
風をいたみとまれしつくいかの江
夕されよろしいそるるふ

伊豫高根

万三名
イサニハ岳
石湯行宮 舒明紀 名湯出之手大和温礼元

伊豫人全集てるや風よ
伊豫の高嶺のいさにはの
いよれさるのいさよふへ
アニノ木 ハ湯 ユケタ 鵤 鵄 シメ

板野 甲斐

六帖
ひのいたの板のきれいさの
ちかひこすみかさるめひたん

板倉山 近江

詞花
つててのいたつめ稲のぞ
かさまおよかめきぞしる

文 天仁 懸紀
足引のいさくら山乃ねまでも
はめるうかをらう妹しき

石亀山 名 続後集

彩勅撰
かみれゆくてもすしあはさう
いそへの山乃松のおさ生

橘 南王

夫十二
横田山いそへの乃もよそ
あさ風さむを数こひしも

石上 大和

古今
いそのかみふるき都の郭公
声ハかりこそむかしなりけれ

板倉橋 備中

夫二十一
和名類聚抄 板倉
いたくらの橋をハ渡もいてかへも
なかれや舟をこえてまた渡

板蓋新宮 大和

皇極天皇 舒明紀 板蓋宮
アリ

板目山 名

万十二 キリメ 殺目山 イタメ
槻山紀伊 キノ字出
夫木
いたやまいつや橋も落合の渡て
きはれましても降りゆく

板敷山 出羽

夫二十
陸奥にちかきいたしきの
山をしふかそわしき

磯根橋 未部

菫 橋 郭公 山田 夕紫 時雨
月 里 下草 三カ廿山 高砂
下橋 社 寺 菖 杉 松
廣ニ云 皇后宮穂宮 允恭皇后 菱 鏡
布留宮 シメ ト 神ナ川 万三 ト 玉貝 萩

磯宮 伊勢

續古今
神風やいすゞ川のいそのうへや
ときよの波乃あれのよけるか
新拾撰
中なくのむかのとたえぬれて
いそのふりはいすゞ川上

磯間浦 紀伊

續拾遺
續拾 紀伊ヒ
万十五神ニニノイロニノ浦
シラキヘツカサルヒ父ノ
海路ヲ詠ル之万十三
紀伊国神ヨ濱ニ
けふこたにをよハりハたゞへせよ
いそまのうらのあまのいなりぬ火
神ニ云 ソナレ松 千鳥 網

磯部嶋 伊勢

磯方浦 未知 夫木集
五拾集イソノマキ橋ニ
ちるおいのこすかしあさえ乃と
けその月乃いそまのうら 入方丸
夫木
神楽哥
未 本
伊勢らしうちの橋よ志ひ鳴るあま乃
つきもこきみとしひつ行すれ
いそしまやいそらの濱の朝まうる
志しし小舟こえにせられつ

磯地川 未知

三十四年ル 千鳥 八ツ萩
夫二十八
そ?れのいそ乃川やぬるらん
いそよりぬ小舟しこつさかみ候

磯浦

里 月
万七 柏岸
なこれ波のあさ汐のなごろ今もまま
いそのうらそにこられてあらん

一 夫二十一
かつらすらや天の人たる
いそよ此橋る月のうるなる乃

伊豆 伊豆

モニス虫 ウツセ貝 月 カモメ 鷺 鴨
續後撰
留根ちとりかこえれいやの鳴や
沖の小嶋よ波のよるまで
山 棧

伊豆波多 紀伊

ワタツミノ中ニ向ヒテイツル湯 トタカ子
ナルサハト詠 を 花 月 雪 釣舟
人丸集
そふまそいはりもの乃拾遺のからなへと思ひはるか
家 根芒 イソヨリ出ス舟ノ名
延喜式五幡神社
新撰
君かみのとりつるとし思ふえうなれ
ゆきされみちかハゆきけるしと
為
かへる山
うれなた 坂 雪 浦かけて見し

磯浦 紀伊

卯花 草
万九
岩ツヽシ
万ホ
郭公 未木
夫廿五カルモノアヘ 舟 ユラ崎 白アラ
ゆふの空に塩干ゆ橋し白らえ乃
いそれらそちへてこさとよむ
いそのうらにつゞよひさすむさしる

急里 未知

夫二十一
いさしと家を行つうし人との
いそいろ紀の里ときさりや

磯島之家

イソシノミヤ
散木
色白
白文の花乃梢をあまうけ家
いそしれこひ乃を折りて候ふ
時雨
一山
まちしさ家 古行のし 笹

伊津貴川　美濃

金葉　君が代はいく万代かかさぬべき　いつぬき川のつる乃毛衣

シキシマ

夫木　白たへのきしとうつりて咲ぬらん　いつぬき川のきしのやまぶき

伊津師宮　伊勢

新拾遺　千はやぶるいつしの宮の神の納　ゆふかけのかみやまさかきかも

出石里　出所不定　国仁紀出

斎院　山城

拾遺　一もとの松乃ちとせもひさしきを　いつきのみやぞおもひやらるる

五十鈴原　伊勢

万一

日十三

九月　ミクサ　月　花

山のへ乃三井をこちらる乃　いやなをうらをわしこの乃も　山のへのいそしなきかへ乃　なかつ紀をいつらむも

伊豆波乃山　備中

夫二十

あとをたれいつはの山のあはれかる　いつはあやうく恋つつや見ん

伊須気山　大和

備前に雲中と

百十九

みつこにしのぶる恋にもあるべきを　いつへ乃山を何かこえなん

厳神之宮

出雲　杵築宮也　秋明紀

槻　葵　松　柳　志め　アリス川

槿

一杜　ちあかなき　ただす川　杜若

斎宮　伊勢

金葉　いつきのあくらと見むつらぬるき　かみもみなかの此戸る

月　イセジノ末　宮柱　ハヘユフ　神風

スミカ川　シノノユフ桁　うれしむ神のしもね

泉河　泉州　山城

古今　都いでて今日みかの原泉川　川風さむし衣かせ山

松杜　里　郭公　千鳥　氷　霰　桜

フシツケ　月　松　久三紀

伊勢久鴻　名寄　名所紀

安芸

あさかすみ人はいさしらず　浪のおもはれきかとおもふ

泉松　未詳

夫二十一　浪のよるいつきの松をかねてより　いくつになりぬれいかでもせん

泉野　和泉

金葉　あさなぎてうちよせくる浪の　いつみのしぶきやわかるらん

土佐日記イツミノナダアリ

伊勢　いせ人はひがことしけり　泉川ゆけばいつくれつつ

入日昌長寺智湯雑紀以所伝ニ出ナルニヤ不シテ之伝也

泉村　丹波

夫三十一

白雲はいつみ乃郷にすむ人を　なかなかりしとそふれ

ニゴ山 ニゴ波 雪 菱 打ハシ 水ノヲダ松
カワキ山 雲 青葉 ウキ橋 掬ムスル 大宮木
カハツナツノ 夕ナデノ サキ 花
御祓 松原 狩衣 紅葉 鴨 淀流 山風

泉河
名所 和字混山城泉河
拾遺 天徳元年大嘗会主基方風俗哥
泉川のどけき水の底見れば
ことしは影ぞすみまさりける

因幡 和名法美郡 稲葉郷 在其三八萬原
古今 因幡
立わかれいなばの山の峰におふる
まつとしきかばいまかへりこん
嶺 雪 紅葉 雲
六帖
いなば川 ... ひとはいへど
われてもはる ...
月 秋田 鹿 花 原
人丸集
葦の声にかよふうらかぜていなばいつれのあきたのもん

泉井 備中
夫木六
むかしいまもさらんいつミ井の
ためしにすいはしと聞へて

伊都志加乃杜 未詳
鞍馬
うらはれはまたむつけていつの杜の
かりのなくなる声きこゆなり

出雲
八雲 人丸集 神さびてけふゆきのあさきさき
わかれいなむなつしもきく
ちはやぶるいつもの杜にこめおきて
わたしのかみつるあまみちなおな

宮 山 川 浦 月 雲 煙
ヨカノウラ 以上 播磨乃於玉 夫木廿八 六帖
播川名ぞ 吉派 木派

出雲路 山城

稲荷 山城
拾遺
いなり山社の数を人とはば
つれなき人をみつとこたへん
山 神 杉 鶴? 月 杉 三社灯
鹿 山下池 紅葉 鳥 鶴 原 四季
松中三又木 花 初午 イカキ 杉ノ葉 荒杉木
梅之一 印花 紅葉

稲井 備中
今案
かゝる乃水いなゐにまかせ
民安けるうきことよも

稲渕 大和
読人不知
せりなかわ瀬にいなふちとは
なかいなふちのたき渡れるや

伊祢浦 丹後
名寄
むかしいなはいつしちりはちいに見えは
われはひとつしのこゝろはけり
夫木
波のうへにいなえしならに何をみる
わらくいなるまの月かけ
鹿 たこの浦 丹後ノタコノ浦 なこの浦 いなかなる
ヨサノ浦 以上夫木十三廿五十二出

伊奈波山 美濃 尋尺歌 伊奈波神社アリ
玉葉集 こゝろをはかけしいなはのおのが
あらしもあまりをあまねく雲まて
いなはの山のいなくいはしまや
秋田 月 雲 松 一首

稲葉郷 河内 続日本紀十六河内国幡宮 若江郡稲葉村
一首
立わかれいなはの山のまつしとも
きかはみかへりもふへひめる

引佐細江　遠江

千載　あふことハ引佐細江のみをつくし　ふかきしるしもなきよなりけり

か　夫木　厂　雨　千鳥　蛍

印南　播摂

播磨　郡名　万　稲日

引人のみち廉ハいなみえる　あをそのゝここそあかれけれ

海　雨　松　蔦　水　浅茅　霜　女郎花

か　旅人　笠　白山草　アカラ柏

川　カラニノ鏡　茎井ノウラ　カコノミヽ

ナノリソ　釣　月　萩　アカラカシハ　天伝フ

日カサノウラ　石フミ　イナムミ　住吉　笹原

トモミ　萩　廉　菅　〻浦　千鳥

伊良虞崎　志广

八雲名所　イトコ　等虞入絶伊　稲伊留

千載　玉も刈るいらこの崎の岩ね松　いくよまてにか年のへぬらん

ナノリソ　シホサヰ　千鳥　玉モ

か　郭公　舟　シヽツ　貝　鴻　鷹　あまをとめ

岩根松　シホサヰ　蛍　巣鷹　〻ノタカ

ツナ岩

生田　摂津

播摂

いくたひかいくたのうらに立かへり　なみにわか袖うちぬらすらん

池　杜　河　里　浦　森　時雨　月　郭公

雪　布引　風　紅葉

か　萩　鶯　氷

ウキクサ　藻　芦　霜　鴛　氷上山

桜　雨　アヤメ　ナミハナル　山セヽクリ　若菜

菖　約母　摺衣　五月雨　蛍　セノ鳥　イル鳥

生野　丹波

金葉　大江山いくのゝ道の遠けれは　またふみもみす天のはしたて

伊奈良沼

稲葉　陸奥　小か

若菜摘山
万　ヤヒミテハナトセヤヘス　ルイナツカモ　ワレヤシカ思フ　君ニナカテニ
詞ニシテ非名所

風ふくいなはそよきて　あふくま川まなからの月かけ

伊奈波　紀伊

夫二十六

あれわたる伊奈波の浦のふくかせに　あらきなみのうちよするかな

伊奈伴神

稲積里　未詳

名寄

夫廿四

アフコトヲタノミタノニ伊奈ヨル　イナツカミノ　キミモハナテヤ

秋田のいなつみの里のあきのよは　かりかねつゝるきりの声

稲村山　近江

雲葉大嘗会

かくてこそ世をもおさまれいなむらの　山のかひある御世のしるしに

稲村里　丹波

夫二十一

山田

君か代ハいなむらの里に神代へて　いなひをとしくみるなり

伊奈良沼　上野

万十四

いかつけのいならの沼のおほゐくさ　よそにみしよハいまこそまされ

イナラ
伊奈沼
伊賀

稲倉山　備中

夫五月雨

保安二年令アフコヲタノミタノニスイセテナル〻ノ神ノキミモハテヤ
延喜式竜祭歌　〻稲倉同之

夫二十

のとかなる天か下なるいなくらの　山田のさこれさかへさるらん

伊那郡　信濃

夫三十一

カヒカ子　カケハシ　ハヽキ木　フセヤ　摺衣　麻衣　カイコ
〻山里　宿　キソノミサカ　松

きそのなかいなの郡にすみわたる　かれかたのあの里といふらん

伊那半也橋　信濃

一　夫二十一

きそれなかいなかやいなかかけはしを　ふみもかへりそれまつわたりかな

里　鹿　女郎花　子規　月　麻　雪

外　秀ノ家　萬　郭公　ノ奥ノ人　女郎花

時鳥　[illegible]　蘭　女郎花

弥高山　備中

金葉保安　大嘗会

雲のゐるいやたか山の木末まで　ますみかみ[illegible]　萬代まで

弥高山　近江

拾遺天禄元　大悠紀

あふみなるいやたか山の榊こそ　君かちよをはいのりかくらん

桜の声ノ

新熊野　山城

玉葉

まよひこし仏のみちも残るとて　ここに人よりもかへし　法印

伊那年也関　出羽　ムヤく　モヤく　日

散木

きかはやな[illegible]いかにむやむやの関も　たえたえしく人をまつらん

伊那倉山　未勘

夫木集

忘れてはうきみのほとを[illegible]　いなくら山のこゝをとこそすれ

伊那佐山　大和

宇陀郡

古事紀中　神武

たゝなめていなさの山のこのまゆも　いゆきまもらひたゝかへは

稲寸　未勘　万十六　イナキヲトメカミニトナトワレニツキニシ　ツチカタノフタアヤウラ沓

稲山　云々

稲葉里　土佐

和名信太郡

夫三十一

ひとつてもかくてしられしとも　みわたすいなはの里

此所ハ住吉ノ玉津島熊野山ノ氏神ナリ　うつりあひてかはりけるとて式人筆を引てかへる　まんとしけるかはりけるに声をきゝけるを人の　[illegible]をいとりしく[illegible]てうちましろこそ行ける

若代松

君かみてはよらん

今来　大和

万葉紀欽明紀ニ見　欽明紀七年　秋七月　今来郡言スト云　其比ニ市　新ノ今来郡トサヘ云リ　紀伊トスルハ誤ナリ

続古今

今来てとふ山の[illegible]たなきもありしたにいはむかけらん

若　郡ニ　ノ邑

外　ツニ松ノ木　ノ峯　谷　雪

今宮　山城

拾拾

今ちはいあかうんしまきれ　むの都よ社[illegible]さめつ

清輔

伊良河　山城

名寄云或惜別　錦ノ川上

イヤ市川

或常陸甲斐

水上もむらさきかいはかはりて　わたくしのそれはのなり

伊良虞崎　三河

万葉

男子　若松

焼塩　アテ

うつせみのいのちををしみ浪にぬれ　いらこのしまのたまもかりはむ

活道山　山城

万二

八坂ノ山ノ[illegible]　橘山ニハ幡ト

契沖云　イクメイナト云ノ字　荒名カ　久迩頃ノ時ノ所多クヨリ

いくち山木のしたはなも　うつろひよりけるには　世ハかくのみならし　いさゝもこゝのまとつれなからん

日六

伊久波乃里

枕ノ仲条　詠落

アハナイクハノ里トテホノ北海ヲスクルニハキノニテリ　オモシロキニ家ノオキタルヲミテ　コハキハラワケツル枝ニヌレニケリ　義ハ、カリニオケル家ツモ

ひとつ松いくよかへぬる吹風の　声のすみかへしあれかな

伊吹　近江

続古今　冬ふかく野はなりにけり近江なるいふきのとやま雪ふりぬらし

山　峯　雪　五月雨　雪　カツラ

螢

月　紅葉　雲　靡　美濃川　雪

アワツヽ舟　嶽　杜　ヨコノ浦　松タス

ト奥川上　小山松　鹿　郭公　ヽヽ嵐

ヽヽヽ山

伊吹　下野　近江ト混名伊吹有

後拾　かくとだにえやはいふきのさしも草さしもしらじなもゆるおもひを

六帖　あさつけやしめつゝ来なきしさしもぐさ　あきなやいふきの山のさしもさ　かのかひを身をこがしつゝ

袖中抄　[illegible]

伊久里杜　大和

百十七　郭公

添上郡伊久里神社アリ　八モ宇陀郡城中ト

妹か家よいくりの杜乃あちのさく　いつこそ来ても待よからん

伊倉山　信濃

六帖　かれ

別てはいくらの山を越ぬらむ　あふこともかくるかならん　これうきことやいくらとき

生田浦

夫木集

いかなればせきもとめぬあまのかる　いくたのうらにいくよへぬらむ

伊久美乃川

未勘

あさましくいくみの川乃そそきたるを　新しき人をあひみてしが

枕草子ニ誠やかへるとていひける人　かりひたりさりぬる山のかれるさ　これらいぶきのさしもか

秋さそふ色　郭公　サセモカ原

伊駒　大和　通河内

後拾　我やどの梢の夏になるときは　いこま山こそみえずなりゆけ

山　雲　峯　秋篠　鳴尾沖　霞

花林　春雨　五月雨　時雨　雹　雲　あきか

郭公　月　雪　雪　一　日クラシ

榊　アヤミ花　交野　イハチフム　谷小川

夕月　クラオキ一　クツハ虫　松　神サフル

雲ノウサキニ　武庫ノ三門　大江ノ岸

長居浦　三津　色大浜

萩　鹿　竹　鷹　黒根

尾城桜　夕立

不知哉川　近江

古今　いぬかみのとこの山なるいさや川　いさとこたへてわが名もらすな

弥高峯

情广　近江ニ伊中ニ弥高山あり古本ニ　竹内ト年中ハ很元怪人ニ正し

夫六一　家集　[illegible]　之浦

いやたかのいその（？）

弥彦山　越後

百十六　浦原郡　延喜式

いやひこのおのれ神さび青雲の　たなびく日すら小雨そほふる

續日本紀第二大宝二年三月分越中国四郡属越後国

伊麻浦　近江

夫二十五　光行

波のまも杜のあらしも今はこに　きゝふの空の　ちらきて

今里　山城

いさらの川に　氷　こゝかし
夫　家定室のあかさ　いさら川を　その収せる礼
郭公

生松原　筑前
拾遺　忘貝　友　ウナ
むかしみし人の松原人とりて
はれかの人もありとこそきけ

石川　山城
新古今　イクシ　タス　竹　宮
石川やせみの小川の清けれは
月もなかれをたつねてそすむ

石川　大和　河内
後拾遺
あめ国のくわなくし
石川やわたに寄て払ひ乞し
よろこの節のうつりやすきに

一　夫三十一
蚊き　秀羽田
雨ふれはかさとりつゝやまの
ふみちらして拂つる山かは

今称里　未詳
夫三十一　但六佐にて肥後名ある
白河院　六いさめ十日
あかねのいまねかさよふるつ秋の
かりにくひとりあかす乱るゝ

今別　未詳
夫三十一
右は近江宮坂の辺
よちれかへらる〇にひとしく立いて
今来る日かふおる〇の杖

伊計　土佐
池神　未詳　万十六　池カミノ力士ニヒカモ白サキノホコクヒニミチテ乞ワタルラン　楯山吉し
土佐日記
かゝる池の水くみしあれは水もなく
いまよつゝつかわかりかな

池田里　名所
夫廿一　正安大　恐
夫をにとかく宮　備中かもし日
いつくさぬあひもてれなかゝるを
つまゝの里よまをもって

信乃　石川のこまうたに節をたとれく
かきこみいくる節をたてさの節
の中いえふるゝ
とそとうてゆる石川を
山城の石川にあらん

石山　名所
拾遺　石山の岩はまてぞゆけは綾をおすける
うちあさいそてうへん山さくら
あつれ白ひを風よまかせて

名　近江
うこれさこはれし山むつこそ
ちくにやちたれもさひん
右宮保元年本登を懐紀方
新三
月日から　雨　音
夫
新古　紀三人ササハ石山のさみよのさや秋秋月
蛙　麻　猿　橋　水　川　ある

石崎　備中　名イハサキ
後拾遺
まよわきよせのみ社久しれ
するこれふなるあされの松

池浦　伊勢　和名度会郡伊気
夫九
松かて池のこ風ゆるかし
ゆくそよふにしまの山

伊部良山　丹波
長能集　丹はなてるをてとまふ山よかわらく
いてとりふりゝへていふこのふと山とかん
こかれし移てみかれのおりてに
さやかなんいふかきの山

出入河　未詳
万七
新六社　よるの花の一社ゝ
いまへいそいりれ川のさくとる
わかまつつきわかふるしも

出生る　未詳
一名所
きれひふ故よてまかいのの我
いそくうちしこそきけ

妹背嶋　紀伊

新勅撰
藻苅舟　露　月
十二八　ウツセ貝　ミル
風ふけはよせくる浪にいもせしま
かくれのうらにちりかくるらん

妹背山　紀伊

古今
霞　山吹　藻　氷　雪　時雨　雁　雲
なかれてはいもせの山の中に落る
よしの川のよしや世中

万代ゆかしき見つゝあかれはきよしふのいもせの山
あしまきしやまとは七人なりは いつもの まかこそねかひ
きせ川つのいもせの山　かくあれはいもせなんと
よしあしを皆へるハ誤なり

山田津　細谷川　紅葉　笹　カミツカ
ヒトノハシナフセノ山　大ナムテスツナミカミノ作シリシベシ
イモ山　セ山二山ノ中ノ瀬　玉ササ　藤　麻　花
葛　中川　関　スツノ橋　ーー川　五月　菊
千鳥　イモ山　丸コステ　セ山麻　ーー山麻　松
ナナツキ　ツナ　紅葉

出嶋　丈二十五　情ノ
ろうかいくにめくるなみの
舟子の声もあられなりけり

出見濱　百七　十三　月　摂津
きこのみれいてらの濱に寄る浪そ
まよひいあるもかきりのあれてかへる

伊佐利嶋　尾張　丈木
舟よするいさりの嶋は風ふきて
時もさくらやのりけるらん

卒河　丈二十三　大和　深山
こゝろいやすめいさともなきのうち
いさく川のまなさけさ

卒河宮　百七　内
春日ーー　宣化天皇紀　後　平川坂宮

妹山　紀伊　鴨山名
万二九　鴨山
拾遺
妹山のいもにちきりてあらは
またもいもかるあそ
万葉右哥詞
柿本朝臣人丸在石見國臨死時自傷作歌云々
妹山と云事は石見とするあやまれり

伊勢

古今　伊勢
いせの海につりするあまのうけなれや
心ひとつをさためかねつる

紀海　四日ノ松原　鈴鹿山川　霞　五月雨
雪　千鳥　月　雁　鴫　濱荻
鮑　貝　玉　露　二見　宮柱
松葉　藻　塩焼　舟　雹　トヨノ岐
神風
イセツ海　イセツノ宮　ハニユフ　タツナハ
大石　ミタヽミ　アコノ子　イツコ勝

伊佐加之山　大和
仁安二年経盛家哥合　忠達　さそらのあまさろく
みりけいさかに山つやうすつ　判云佳備云
いさかさ山まつやなさいふみなりかやりとて
脇かす

伊佐奈美濱　丈二十六　山城
いわれいさなの濱いさなへく
いさともいえすすくせあれそ

伊佐志乃山　丈二十
伊勢ゆうら いさこれしの山の名あるとて
布川の瀬にこ詞ありて奈にいはす
あれ山のいさこれしの山乃水よそ
れ知てられて布川のされ

伊佐々川　丈二十口
名或此名未さ
岩倍
せれ多ら人もうなれたあら～くも
いさしの川乃おもやつれ

ミル　タカミノウフ　ハセアミ　基俊集　浦

神　ミツノカシト　ノ杜

人丸集

二くらまりこそうえめさる人のをちぬ杜と松てきくも

天照山　桃　泳沽山　内外ま　櫻貝　真貝　螢

アニノタクヒ　ノノ丈　イモ井ノ歌　むかうし　入江

オルムスクアミ　アニノタハレラ　フルツナ　坂中え

五十鈴川

新古今　伊勢

君か代ハつきしとそ思ふ神かせや
いすゝ川のなかれ絶すて

月　松

汭　一宮　氷代ノカミ　タキツイハ子　シタツイハ子

トコヨノナミ　花ノカヽミ　玉キノミ代　稜　康

山ノ紅葉

伊佐?乃山

新六帖　伊勢

咲かゝる人ハいさゝ乃山れきくらむ
かきくらしハるゝ日になるらむも

伊佐尼乃里

六帖　兼藤

松葉子　イサメノ里

あすかのいさゝ乃里ハあらしあれは
うつろひとゆくあかす日の名を　いさゝ名

去来見山

伊勢　名に伊

万一

新六帖　霞　紅葉

いさもこそいさゝ見山のたかくとも
やまとのみちはとほきかも

生駒

万二十二　惰广　おもかけ　生駒　未来悵中

朝夕に宮のちかく残なるく
いはまにこゝろをもかへりけれ

伊波多郡　ヨミイ　和名磐田　伊波太

風土記云西限廬山東限梅坪坂南限英咲

湊北限長途園諸木竹諸菓諸多諸英

之貢今略之

入見郷　イルミ　和名　旧歌　日云貢銅鏡琴瑟絃弓絃

ゝゝ神社　旧　同云雄略天白王二年戊戌十一月

和名　不祭葉山長媛也有神戸入足氏巫戸數十

飯室郷　旧歌　同云五穀ゝゝ假粟ゝゝ貢柏

梅竹栗黄芩辛螺蝶蛸蜀椒茯

薯蕷

飯津澤神社　旧秦東郡　神名　飯津佐和乃神社

同云不祭高産霊尊也欽明之御願也

巌渕　後同　イホ东歌

同云出横穀羌川岩前胡柴胡鮎鯽木

又甲斐檜皮木楨桐等令代舟着于茲

飯田八幡　旧歌

同云神護景雲二年戊申八月十五日所祭

石川

万二　石見

天石川　けふくとわか待つ君ハいしかはの
峡のひし　見にまじりてありといはすやも

石田

山城

拾遺集雨十日ハかりふりつきひとりかたにこれく
なりけるいさしれぬさるやいとのかたきもひへふ
わさのありけたのもしく絵のさとかいふひとつき
うけるあつまもみてとまりて
るるとありいかのことせもるかわたて
くもりそてら沈のそてる

北地苔丸

石津

和泉

延喜式石津大社

土佐日記石つといふ所の松はらめでたくて
浜辺にあしゆきて浪よりさきたまふ舟かへく
石つの浪と浪あへし

誉田天皇手荒木田於衣津度也

伊駒麻神社　跡河　式　神名帳佐伊河麻
同云浄見原天皇御宇四年四月被祭之應神天皇處分嶋田宮奉祭誉田天皇是也

池田　或嶋田　日紀
同云産早稲晩麦他黄當帰橘柚供典
茶膳部詞

池田神社　日　神名帳
同云所祭事代主神也小泊瀬若鷦鷯天皇元年乙卯六月祈雨祭之

一色　或一職　日

一邑川　日　同云自盧原川落于此有鮎鰻之利

稲荷神社　日紀　同云神護景雲三年乙酉正月初祭之

稲河　或伊奈川　稲南川　日紀　同云土芥蘿蔔入内膳司料

石瀬　名所
拾遺
ひとしれぬ思ひはいはせの杜なれや
いはぬも人のしるしなりけり

伊之乃原
万葉集　未詳
ひさかたの天の原より絶えせぬに
いくの〳〵乃志けよけにも

石布利河
夫木二十四　紀伊
みなかみやわかれにけむ川のすゑ
ながれて人の社なりけり

射水河　射水郡
万葉十七巻　家持
ミナト　スドリ
いみつ河いゆきめぐれる玉くしげ
ふたかみ山は春花の咲ける
清き河内　舟

和泉　或臺出水（イヅミ）　日紀　同云有好井其底二尺餘旱水不枯洪水不増常有小蟹散隻住井底取之不當手其水如甘露

妹之関
飯合川（イヒアヒ）　名所　猶山立之万　山ハノ宮ハ消ヌヤアリヤミリ　イヒアヒ川ノツヘハシツクカモ　非名所
新六帖　未詳
ふるさとのはなかけのいもがせき
むかしやかはらぬまよ

出羽（イデハ）
人丸集
夕やみはあやなくもあるか月かけの
いでばやものいみもまぎるらん
山家集
あらしふく峯のいでばのその桜
うすれの花のまがひに

市部阪　伊勢　未勘
風土記云海上多岩而高民中古以来有炎熱之事備熱田神膳　下略

條川池　日　風土記云此村隣河内地同

負辨郡（イナヘノ）　日　風土記云當郡東西七里南北八里

石邊山　尾張　海部郡　同云出名材鹿狐繁多之赤土

五十嵐郷川　日　日　下農　風土記
奇石其紫紅之二色能役硯石

伊豫根郷　尾張　羽栗郡　中農　風土記

イカノ又入
伊賀郡　中郡也

風土記云東限澤墳西限三宅師川北限横川
南限豊圍以圓名爲郡名昔日多松竹栢
杉中古少出中田也山数五十二河数源流共
二十三里数荘保数八十三処

伊賀山　同云出松杉檜桃有異鳥異禽有横井
　草亂獣亂
墳横井眞人以此山爲居所爲山賊被害仍而圓
造葬之春秋終之祭有出魂出光圓氏以
称依祭之有神号龍田明神也

一宮山　日　阿弁郡　同云出松竹杉桜木有神号
敢國大明神不祭金山比咩也

印代里　伊賀　同郡　同云下肥也

印代川

市部山　日　山田郡　多出名松爲木工寮之助材亦
有異禽有神曰豊田明神足中彦尊宮奉
崇之有部之東北

呂

六波羅　山城

康資王母集九月十三夜六はらに人〻まうて
きあつまりて文作り哥よミ侍る
名にしおひてこよひはかりは何て
月のあかさは帝ハさえらん

来　白居易ト盧三ト八ステ秋ノイトモノリ三扇ノ風ハコトナリ
此哥ハ水モ月ツモコリカタニ六ハラノ説德キ〻ニ〻カリ
タル人扇ヲ六ヵヘテヤルトテテトミし

六七郷　尾張　海ア郡　風土記云下農　古名ヨミナラシモシラス

波

憚関　陸奥

拾遺
あつまちや思ひて人をとふころの
哀まなみさへとまりけり

紅葉

柞　山城

拾遺
柞山ふかれあらしの風をいたみ
ふるとのことはかれてあつむり

杜　下草　雨　時雨　泉川　霧

作か佛て出る一　雪　紅葉　女花

埴安（ハニヤス）　伯耆

大和

万葉集
山のちまちうこのれて天の原
たちふその月やくさん

十市歌

万一
うなやそ くも
あをによしこの池の堤のみちあらまし

日二
みかとのかう池　神武紀

埴生坂（ハニフサカ）　河内

履中天皇御製
とおふ坂わか立ちみれはかけろひ志
もゆるいへむら妻か家のあたり

山　推古紀

埴山

未詳
是ハ岩山を斜て石の山と見て
名ふよいあらさへし
そに山のさやの床のなつかしむ
名のみさこうあらねこのよは

● 巻二十
信濃部名

埴科　石井

万十四
人ミナノコトハタユトモハニシナノ
石井ノテコカコトナタエソ子

今案信濃
埴科郡アリ

博多　筑前

はねちしくしらのわん…[illegible]
[illegible]
けふそとて

かつらてつゝ…[illegible]

[illegible]

羽易山　大和

後拾撰　[illegible]

書　雑　[illegible]

月

松　ホスカケルノ　大宮ノノ　カサヽキノノ

蓮海　　未詳

保憲女集

[illegible]

[illegible]

蓮浦　加賀

夫二十五

[illegible]

針川　伊勢

新撰集

名寄（新）[illegible]

[illegible]

針野　　未詳

夫二十四

[illegible]

羽束山　摂津

[illegible]

羽束師　山城

後撰

[illegible]

泊瀬　大和

[illegible]

幡广

池　夫二十二

○幡广人集　[illegible]

[illegible]

土部村　丹波

夫二十一

[illegible]

波加気須

波加多川

[illegible]

旗野

博多川

山家集　未詳

[illegible]

山吹　尾上　川な　杜宗　三編
柳　霞　かせ　笠　宿　家　里
呼子鳥　庵　月　雪　松　滝　宅
氷　松　椎　藤　宅末

かゝ　石枝椒　岩ト栢　椎
郭公　鮎　杜鵑　納涼　擣衣　菊　一女ノ千二ノ玉
三本よりよき　あきの衣　ゆつき　よつを風
杉　あさ　花　沖の沙よせかゝ川　まつせる
波の寄する　藤　ことりの一周一ノ　みけり
杜　菖　松の庵　小池　返歌よて　旅君紀　胡金之　旅君　定家
舟　白菱　残　白エツ花　フタラク　フモトノ池ヤ
イサヨフヤ　板荒　カワラツ　トヨハツセナ　岩コスケ
山千サ　雀柳　岩根白ツシ　杖ノ末　峡子島

花園里　山城

新撰古
白雲のゆふよりたちて　錦なる
う月かわよむりうきの里
此有永仁六大悠の居風倍光寺あり　花坂
又ある坂あるよふに白坂とあり　花坂ん

花山　山城

秦賀演川　山城　久世郡　出奇砂似今　風土記云柚池目良川之末之

波多祇山

畑山未勘　新六　ハタ山ノヲクノツキノクス井アリヤトヘトヨムナリ
夫木九　時雨そそきたれの山のみぢちれ
さつかくの名よそ有らん
敵本集よよらふ　夫木語丸
名出之北名不見

波多横山　大和

和名五市　郡波多
万一　十市　皇女参赴於伊勢神宮時見波多横山巌吹芡刀自作歌
河上の湯鈴君村にくさむさす
常にもかもな　とこをとめにて

波津加乃里

畑焼山　新六
古枝ノフシノミコルウツホホノ立ルモサヒシハタヤケヤヽ
北名不見
夫木　摂津　有る歌明東
丈三十一
まつ日いろのの里のよしの戸谷
されあきまよ知らん

初倉山

丈二十四
玄古
延喜五年式二序に宝　駿河　初倉　十疋
うちつけにやや何まさの大井川
みてそまよかれてまつる山の

菰池

古今
よそにきてうろん人の家のなか
うひよつくれよ松はさらとも
摂　郭公　雪
シハシトナカン音
むのしら　未詳　一
摂津
八雲　夫木　新撰名所　廣隆寺國
類中　上卷二に但し未詳
後拾遺
ゆくまのよ風ヘて氷る菰の池を
声よしるのや消えそつる
冬のまつく　たねより

菰室　山城

鴨　蓑　ミサヒ　氷　菖　菱　芹　萩　鷲
新勅撰　一よ我のうれてそむろよ山室よ
このわのてよと侍りけり

波根　土佐

波豆麻　摂津　万七　スミヨシノハマノ名カニソコロモサニツタラナシスエテスヘルコロモリ
土佐日記
かへりくる人の家にもあらまえ
よふところに歌へりうか

放池　摂津

方に
もののあらわれ池よ木あちれて
うらかんて氷りみりとろさる

波奈毛小嶋

丈二十之
紀俤
名所方をもあらし
楢山立ち
なかのうちあれこ海の境なる
夕あさらなるふらそ伝ふ渡

花厳　大和

ハナ　カゴ
離園　未勘　名寄立し
あはそ
沢六　行居ノスソノ、野ノハナ乃色
友宅シケミ麻ヤ咲ラン
・名寄　紫　ふり
むらよれよしめ山の神乃れる
わかちるく　ふかそそ

○通證六十五丁
天孫降臨高千穂山ノ
註可考

いなれなるもなしあらそてこれたるかなる

はかのやま 名所のこひの里

速日

続千 日向

かくふなるみのとに天くたり
天のうきはしたつそかへる

濱名橋

夫木 歌名風土記云 西限坂上立井 東限麻作堤 南限大和田 北限葦名山

拾遺 垣ころもにはふさい人や
まなかれしと名や知らん

霞 五月雨 雪 月 雪 松原

かへる ミル 川詞 九坂里 タナシ舟

入江 セ 水ノ上ノモヤケニケリ ミヤコノセ

ともあ アラキイソナミ 高師浦 川

アヘノステ舟 高師沖 シラハマ 誘ツトリ

花園社

名寄 未勘

きのはなけふもあやとるかし
むそのかりのさや法りせハ

花園山

夫二十 三河

八雲御抄ニハ花ヲ山ト有リ
夫木 山城又大和河内

春霞むその山をあさみてや
さくらかる人のこころかん

里 夫卅一

あさみとりかすみの山の絶えより
かゝしられむそのゝ竹に

菅 細川 花宗 竹苗 里モノツヽラ

花室岸

夫二十六

名寄

むそあり岸をあやふき風ハ
ささみふけひのうハ吉しも

花波里

丹後

未木

花根

元享八九月造遠江浜名橋…三代実録
風土記君谷松柏梅栗楓胡桃漆栗楢狸
麻兎鶴鴨雉鯛鯽

名寄

千載 心なしてはなの名ちるより
ころちくちあかさむすに

山 伊豆海 霧

霞 葛 水海 ミヨ芝 アシカラノ

松 笛 家 雲 サカシキミチニシク枝

ミシマノハナ 神山ノアシクノ糸テ 山菱 フモトノヘ 女郎花

フクラ山 菫 郭公 糸桜 月 フタ谷

花宗 一宮 ミサカ 廿竹 照射

花崎

拾遺 名寄

いよたかかにつなへんなさきの
ものとくもれひとつなれ

かちゝ花松京りしらく 月

花埋

夫二十三

花ばの見えし春ハ梅ちるかり
名川ワヤおかのりしそ

花堤

未勘

万十 但詞ニテ名ニあらざし 楢山主し

秋くれのむ乃かすはいさす
ワさひ了ろふのつや

雪 朝 花若葉 香 簾 梅 尚芽

花林

夫廿二

池水の花の林ちちそあそえ
ふられとまんあやすけれ

此名ハ是林ヲ花林

花里

夫三十八

大和 名未勘

むの見へしもあしんなのそう
つらくはなちぬこめちなて

名 此ノ未ツム花ノ里ヨリモ時雨ニフカキ ミチノモミヂ葉

花蕊

未勘

走井　近江

拾遺　走井のほとりをさりや逢坂の
関川こそ（？）ゆふみのこま

松葉（？）走井ハ一アフ坂イルカシカシ
清水ツ一水　寄　カケヒ　定月（？）

一ノ川　後

走湯　伊豆

玉葉　いつの年山の南にいつる湯乃
さたハここれまつしなりけり

一神

波母山　近江

風雅　ちりもやをひえれ杉のこのみる
あらしもさむし音人もなし

花園

・夫木十五

赤卯　法か御て一首ハ一

はるの〔ゆ〕くれてちらされなしって
そかれ〔こ〕そのまの〔き〕乃〔わ〕かの

花見山　備中

夫二十

今そ見ちる桜乃えから山
風もうららにさす〔わ〕りよと

花見岡　山城

建長六〔二〕月
〔四〕〔首〕〔ら〕一

此奇二首

後まるうと〔お〕の〔ふ〕日みるた
むのさくらハ〔お〕とそすてかき

波良河

百十〔四〕

赤卯　此ハ〔御〕字テ京川先

楢山

青柳のそらろ川とまりいまつく
てとハらかん〔ち〕とするひも

廿夫十先京瀧　松くひていかれからん青柳北
そらろ川への〔う〕らひもの〔て〕る

京川　近江

夫廿〔四〕　近江国の川とは川をわけふうらく
京れの〔こ〕乃川きこその〔詠〕のえまも見かは
川やを川のほの〔さ〕ここきみ

名家　ちとを人の心をそしれ

京田里　武蔵

名家　京（？）やりの田のうまなりしれ乃
〔ま〕川（？）れし〔そ〕ちら〔お〕ふ

京かの山、赤卯　夫七九　アラシ吹京ノトモノアサカレハ
ルヤミソノ色ニ出ツ一

京園山

赤卯

夫木九　木陰ひて桃の〔せ〕らも〔わ〕らし
青紫〔さ〕ち京の〔お〕山

・拾遺集　早〔よ〕なる松のためしもあるまで
〔く〕めの神し祈とるこ○よ

此奇ハ〔岩〕根二〔ち〕る　〔そ〕ろ〔そ〕ノ中〔ち〕り
京ハ此ふるあら水のたきと

阪也 未 万十一 梓弓末ノ阪也ニ云持ナル君カ二云ルノ絶ント思ヘヤ

東坂津 三之日云

山家集 訪 三西

けふれいそらもゆく波の水にて
いつれ三らハの浦の八てし

東山

若夢 桜津 名所方太宰府前桜津湊上戯東村アリ

東の上山 柏 右乃不五十九杂

いる山の清(?)やの中のうつる
わかれをこ(?)四方のここのよハ

清 若草 旅 篤 康

羽咋海

万十七 能登 羽咋歌

あわうろたつ 能登 乙しやそとひの海
あさうれしうら舟うちも つと

「早川」

早川

万四十三 出水 早川ニテ 此名不見

万四 ウツツシト 思フ心ノハヤ川ノ セクトセクトモ 猶ヤクツレニ

未棹 七二廿 思

櫓山下棹至こ

早苅川 挿百 測セシモソコ見シラヌ思ヒツノ ミナキリウタル川ノナカレハ 名出し 此名不見

丈二十四

夏 東路の中さうとこてらいせて
あわ不なうはしもゆ川の水
さつきあやふ舟のうやにむる

速見里

若恒 速水郎 未木ハ名所

未用一 太宰にて あうけ内 言々を家集ニアリ
何との中しうれてうみちとわこ
ちゆうれ里いそれゝつらん
のきもことそやとのうれはむしき
あうもまうる宿をすうけ

浦 日

郭公 五

速見濱

万一

實中日ニ卑住歌 櫓山卑住ニ入し 未不流お 名所流在

のきもことてすもなう風大宿
の松枝ふうさうな中

林浦

伊勢 胡比歌

• 若夢見お
しゆされまつていいし花うなう
つくのうみをうちうふつ

端山里　恋部

文三十一
〻月　寄
はしたかのとかへる山のふもとをきゝけれ
すゝしのふのなのみなりけれ

濱村
隼人追門　赤印
隼人ノセトノ岩ホモアユハシル サツマニ入　楢山ミえし
若菜
伊勢　細明親　日中
ひわひたるいさりせさらん夜をしても
細けうらく日中なりけり

濱松
八信井　赤印
此本ハシリ井ト点セリ　楢山
李江　数智郡
文二十三
〻室　高世山とも
高師山こえてそくれハ濱雲の
一むらなきさうらのいりうと

濱松岸
波向之小田　此本ミニと集
大宰佐ニテトルニ ココハニノシスエテ波ノヨセヨニハアマノアサリスヘクトナカリケル
玉社　石え　揖保
なみよりにいとし波をさらけ世
はるのうれを戸松のきし

浣津宮（ハリツノミヤ）
揖保　欽明天皇ニ居

草枕
澄奥
古今集のまゝ　赤よ
白川の実よりらかのつけくす
いふもことのはそうるし

草池
武蔵
八雲ツ抄又本　小仁
文二十三
冬深き草のいけへを細ゆけえ
こほりのかえ見る人そなき

草浦
和泉
日根郡
土佐日記
ひくき事
丈露
まかけ草のうら波さきぬれて
うみそこくとみとふれかと休らん

藐孤射山　赤印　楢山ミえし
万十六　ムヨシアカウノ宮ニオキタラハ ハコヤノ山ヲミテノチカケレ
菓松

幡舎能山　大和

履中紀云五年九月乙酉朔癸卯有二如風之声呼於大虚曰鳥往来羽田之汝妹者羽狭丹葬立往

古事記允恭

天田むかるのをとめいたなかは人しりぬへしはさの山乃はとのしたなきになく

萩原里　常陸

又三十一

秋萩を妻とふ鹿こそ[illegible]
[illegible]
右[illegible]
[illegible]

萩山　三河

又二十　[illegible]

[illegible]
[illegible]

波義津　伊勢

新撰集

[illegible]
[illegible]

葉白川　[illegible]

橋殿　山城　賀茂

[illegible]

[illegible]の橋[illegible]
[illegible]

半山　丹波

夫木集

[illegible]
[illegible]

[illegible]

橋本

[illegible]
[illegible]

橋むち　播磨

[illegible]
[illegible]

延槻川　越中

五十七　　形川歟

立山の雪きゆらし　はいつきの
川のわたらせあふみつかすも

ちせ　肥後

ウサノクニトシ
ヒカキ集　太宰府ノケン友ニテヒコノクニヘキタルニ
ソノヨリハセトニ不ニタル子キテコレヤ名ダカキトカキトハ
ダツルトヽヒシニアトロヘハテヽユヽシケニナレルヲミテ
心アトリシケムヨリニトシカ云
君ナラヌ人ノ世ハイカニセム　心ハセコソスミカナリケン
ナトカヽリもニケンテトシミシニ
心ハセスミカトナラハ君ハサハカヽヨリホニホアラシ

一本作強
張田郷　尾張　波アル歟　風土記云下農

羽栗郡　同　同郡名下注脱

服部里　伊賀　伯耆歟　川出鮎鮒ホ又号呉服川
風土記云中肥也有神号小宮大明神并狭伯大明神
共服部氏祖之所祭也

早川郷　同　尾張　和名云比郷

風土記云在郡之西土地富饒在神曰油滿
明神大鵄鷄号之御宇奉崇神也

速見郷　豊後　出井歟　出和名抄　脱風土記

波久奴神社　同　同

波太神社　和泉　日根歟　出神名帳　風土記脱

白龍寺　近江　予州歟　風土記云孝德天皇八年
熊野勝漫法師安置丈六釈迦佛行傳経　轉瓦
會文云

濱松神社　同　同　同不祭白髪神社也

白仙寺　同　イハタ歟　同天智天皇二年甲亥二月
釈養安安置丈六之釈迦

蓁原郡　近江　西限大田輪川　東限大猪川
南限お良浦　北限早膽山
風土記云貢松杉桃橘柚麦鮮魚紫胡荳草
黄熟菓　出
鶴鵠鴨鷺猪兎猿

服織田神社 旧 宗形天皇七不祭猿田彦ハ与天鈿女命也 年文千河内 令斗

服織田村 旧

羽車磯田社 旧 波河 イホハラ故 離宮也

同云大己貴令天孫降臨之為乃其時大己貴令登天上奏可順祭之由御天日鷲天羽鷲羽車休御穂御崎ニ後其鷲為ニ之社日有ニ天女脱羽衣羽車也

潮風不遠時彼涛不挙壊可奇涛也ナノヽヽ

仁

丹生 ニフ 大和

玉葉 杣人のとるや槙立なからなり まきのしけみの[illegible]れのころ

梓山 ヒタ人

新葉 ミカキ ニチカテ 小川 郭公 鴨 斧 ネテー 杣山 鴻 魚 六月祓

芳 雪 氷 玉葉 神

尓保海 ニホ 近江

千載 いつ紀のうみやみちのはまかん ふりも人をこひあふなりて

霞 芳 月 氷 千鳥 舟

螢 涼 千鳥 お頃 辛ほ

丹生乃池 山城

清か納言のかたしま ふるしかしつとくみしるり 蜻蛉日記 いかてはこのへの池いつる川 かといひてのなしとかへしらとて あられてをりう 物わり

尓閑浦 ニヘ 近江

万二十 やへとかへふたらもそれ 一人ろうと あひらし 何もこしも[illegible]ん

逃水 ニケ 武蔵

夫木 元月 不

浅山 ひえの山 釣 打田橋
ノテル中 浦 雪 兼田 網代

二宮

新古今 日吉の社よ

二万日 備中

今案

文徳元大三比 二万のみ[illegible]

都石 ・数本

丹生

万十四 未勘 但東国 今案和名上野甘楽郡丹生郷

猶山越前ニ入

丹生山

万十九 越前 名越中 越前丹生歌アリ

ミナキシ山 トナミ山 廣 樹

贄田浦 伊豫

万一

鏡石川

ニキシ

月 薬 アライソ 大ミヤ人

続古 風至歌

西河 山城

続後撰 松入江 家隆

西大寺 大和

西海 続古今 西海ヤアキカ末ノ波ニヨリアラハレイテシスミヨシノカミ

宝方集 夕日 白浪 夕日 ノリノ舟 ヨリ 吽

錦浦

紀伊 名寄 伊勢

万十七 名寄

西泊 未勘

丈二十五

西市 大和

万七 拾遺 猶山山城ニモ

西林寺 播磨

新家集

西京 山城

早稲田大学図書

拾遺　名にし負はゞにしきの浦をきてみれば
かつかぬあまはすくなかりけり

神武紀ニ紀伊国荒坂津又ハ丹敷浦ト
云ヘリ此等ヨリ名アル歟　後撰集ニハ熊野ヘ
詣ケル時紀伊国ニテヨメル歌ニ
ナリ

又藤原為家の哥ニ志摩ノ二色浦ト　和名云英虞郡二色ト
名寄　みしかよの色をつくしてなる貝ハ
二紀のうらにゆかりなりけり
二紀まつ柳桜とみなり前利
錦のうらの色も此明本の
此二色日本紀　未考不記ニハ出ルモニ入

新居（ニヒ）
名寄　河井歌出和名鈔脱　風土記

新千載　文保二年大嘗会悠紀主基
いなくさの立ちそこなるの
まひゐのつゝ八まさりけり

新玉津嶋
山城

新続古今　永和四年　新玉つしまの社
つくりかへの時　権大僧都　堯孝すゝめて
侍けるその哥に申よ　新続後拾遺と
いふ事を
雅縁
代々をへてかはらぬ名をも
あらはしてまもる浦のたまつしまひめ

蝶のいなし　本家歌　とられ也

西寺
山城

催馬楽　元輔集　西の京に侍りし人の上に心ざしの
あらそひて侍りしころ
萩の花をやとしてはかはいそに
みかなる人やむかをまつらん

西宮
摂津

拾玉
あかの浦の凪にせよみしのこや
あつとにのさやえひきさかの
幣や神事かなるみそきゆふしつ
みのなかのまさかりしつ

夫木
みちのおかつとわれつゝかんも
つかひけるつんつけさえつくかし
まうさんとまうせたちしやさん
あまけまうせ

新千載
いかにして浪の上ねよ　広田社会

錦濱
未勘

錦部里
名寄
脱風土記
古哥今
但任於遠ノ哥ニ似テ疑問哥也
波のうゐにきれるをとられは
うつりあへとすくなかりけれ
和名抄河内錦部郡　イ本之古也
河内ニ錦部郡有リモニシゴリト云リ
夫三十一
色々は木のもみちてにほへるは
まさにるゐはしきりの里

錦嶋
伊勢
夫木集
ねこたしく朝ぶのきてあらふれよ
にしきしまゐやなかん

新治（ニヒハリ）
常陸
日本紀　景行
にひはりつくはをすきて
いくよかねつ
古九ノ十八ノアフミ　ノ会ツクルヲ

新川
越中
新川郡

・五十七長
まむ川のをのゝ山まところす
ゆきふりしきて

新田池 備中

夫木三 正案
川めてやおとせれみを頼まん
まひるの池の名乃あるなる

新田山 上野

新田郡 俗にまつさと云

百十四
まいるのの枕
みひとふみよ八ほつかつ
ちかつまらてあゆるまし

新室 名哥方し 新家紀紫詞把名不

丹波郡 尾張 羽栗郡

糸保川 伊賀 山田郡
風土記云在郡之東北離奥

新居 御井 波河 ウトノ郡 和名 ニヒ井

〻〻神社 同
風土記云押楯宣化天皇二年丁子三月

贄代郷 参河 渥名郡
初祭之大武神也
同云公穀〻〻假粟〻〻貢諸斎奠
尤宜鰯取之肥宮田私稲

西鴻 駿河 ウトノ郡
同云産蕎麦芋若蕷胡蘿蔔茄等又産
脱稲雉鶉雲雀鴫雁〻〻 同野井陵 図
造野井真人葬于此 早稲熟時以穗祭
之神祇官之下文毎祭至於此

西山寺 同 イホ原郡
同云和銅元年戊申聖仲沙门完基之地也
安十体無量壽佛

保

堀川　山城
詞花
ふかゝりし浪をさめてしられけり君が代を
ふるき堀川のみつ

六
七紀の井ひのうらはし

堀江　摂津
古今
ほりえこく棚なし小舟こきかへり（ミシイ）
おなし人にや恋わたりなん

橋　霞　五月雨　蛍　葦
ミヲツクシ　松浦舟　月　十二八　ヤコモ
五千舟

堀越浦（ホリコシノ）　下総
名寄
かもめ
あら浪のたちかへりつゝこのうらも
かひなくてあれてひさしは

細戈千足国（ホソホコチタルノクニ）
日本国号　神武紀
細川　三河　八雲　協百
ホソ川ノ星ニノツラヲトケニケリ
花ツノ山ノミチノカスメル

細川山　大和　十市郡
万七
うちわたすのわたり川山をうちすきて
ゆくまでも人をなけかん

細見池
時頼　家
長石
あかつき
欽明紀大和添郡

堀兼井　千載　武蔵

五月雨

むさしのゝほりかねの井もあるものを
うれしく水のちかつきにけり

か
難き　細舟　ニツミ玉　サラナミ
舟キホフ｜　川ノセ　大ミヽ人ニコモ｜ノ貝
蛙　アマメ

細谷川　備中　古今

まかねふくきひの中山おひにせる
ほそたに川のおとのさやけさ

信按ニ　類字ニ　備中ト有　古今ニ大嘗会のときの
歌ナリ　細谷川の[illegible]
[illegible]

未徃柄　イモセ山ホソ谷川ヲ常ニシテ
カスミノ衣ケサヤキヌラン

細江　[illegible]

[illegible]

・丈二十三

あ[illegible]の池[illegible]
[illegible]

保呂山（ホツノヤマ）　家　丹波

氷つるいはまのさをれたゆみえ
[illegible]

穂積（ホツミ）　大和　万十三

[illegible]

夫木廿八
水[illegible]

穂坂　甲斐　丈二十二

[illegible]

星園山　合文字　赤印

[illegible]

発心門　千載　紀伊

[illegible]

穂屋

続古今

[illegible]

シナノナルホヤノスヽキニ風フケハソヨサソタレモ円シコヽロソ
ヲハナフクホヤノメクリノ一村ニシハシヤアル秋ノミサヤマ

名寄云　穂屋之事　一義云以薄穂造屋収稲也云々
一義云在信濃国也名也　両義共其説分明也　月
捨在心気云々

星川　保乃川皆　光俊集　伊勢　丈二十

キミコマヽニフモクルシワキモコカ
ホノミシサキノアマノモシホヒ

[illegible]

星川　丈二十四　光俊　赤印

[illegible]
家集云　[illegible]

星月夜　堀河　福会志

[illegible]

星合濱 伊勢

夫二十五　舟

うらちかくよせくるなみにうけふねを
引合のうらもくるしかりけり

星崎 尾張

夫二十六

引さかやあつたのかたにいさりせし
かれもなるめやすふんを

鳳白郷 同　羽栗郡

風土記云下農

遍

平郡山（ヘグリノヤマ） 大和

日本紀 景行天皇御製

いのちのまたけん人はたゝみこもへくりの山のくまかしかはをうすにさせそのこ

古事記 雄略天皇御製

草香のこちの山とたゝみこもへくりの山のこち〳〵の山のかひにたちさかゆるはひろ熊樫

万十六 八重タヽミヘクリノ山

遍見牧（ヘミノミマキ） 甲斐　和名巨麻郡逸見見倍

夫木集 六帖

夫木集ヲ合テ ハニツモ誤元

秋やそなつけてひくはなにそさけ
へみのみまきの駒そすけける
とらさけへみのみまきのあれ馬も
うれはるつくなつけそとる

安志田池　袋河　ウトノ歌

風土記云 調御鯉鮒群魚菖根荷葉

止

鳥羽　山城

古今

行の家はなふ之花子引乃
とえにあひえをそのこゝそ

四星　山　大江山　寢覺　菖蒲　古今
子規　月　雪　五月雨　擣衣　一　[illegible]
鷺　秀　ミ四の事

萬葉　滝　霰　村雨　帆　友ヒハリ
龍秋山池　雀エク　花　ミユキ帆　民煙

鳥羽　大和

續古今

[illegible]ひるいて久るも[illegible]の
[illegible]まつの[illegible]とのこゝろく

破石池（トロシノイケ）　和泉

和泉部

万十

妹[illegible]の池乃[illegible]
[illegible]の[illegible]なく秋[illegible]も

石ノ字ヲ古ノ字ニあやまれるなり　八や近江とし

[illegible]この池とい[illegible]あり石ノ字ヲ古ノ字ニあやまれるなり
いゝ人[illegible]みえ[illegible]
とゝこれ池[illegible]あし

飛情浦（トハタ）　伊勢

名

万十二

此本ニハ紀伊又筑紫とも

[illegible]ゆ[illegible]に[illegible]乃
[illegible]をこえ[illegible]

鳥羽淡海（トハノアフミ）

月

五月雨

一

常陸

万葉に笠女郎か家持におくる歌の
中に 白鳥の飛羽山松のまちつゝそわか
恋わたる此月比を 此哥をよめり
此哥をよみて飛羽松といへるは大なる誤
なり 秀

鳥見小野 摂津

新勅撰 住吉の松のあらしもかすむなり をとふをにあまの明わたの [illegible]

住吉の 鹿 桜 郭公 月
萩 桜花 广 鹿 秀

かタ 紫ノ裾ノ衣 子日 桜かり 梅
鳥 松 雪 蕨 菫 鶉 ツモリノウラ 十種也 秀 松虫

多武山 山城

多武山は何誰泥鳥なり 葉を多武地とも云

於遠 多武の峯にけふりのたなひきて [illegible]

也 鹿 雪 谷 煙 苔 霞 寄

通小野 よほり

・方九 おひけりのとこのあふさ 秋風そ [illegible]

夫木二十二 赤卸 [illegible]とあふさかの 萩の花 神よりうつりかよへるつゝし

通川 トホリ

夫木十四 摂津 夫木 夫木八河内 右同之

[illegible]ちかのよかりの川乃初かけ 流れのひよ舟よふやされ

鳥保都里 赤卸 筑前九

夫木廿一 うた集 [illegible]の里[illegible] 今こそ[illegible]といてゝ[illegible]

遠津山

赤卸 兆名不知

夫木抄[illegible]へ[illegible]けりけは 通川日不知

十市 トヲチ 大和

人ノ煙 ツルノ林 ワシノ音 根ノススノ

於遠 [illegible]のかへ人あまをの ふるさとの里はいつかしりを

里 村 池 山 池 桜 椿 冬立
广 時鳥 月 桜花

かタ 大和川 鹿 ミクリ カヤリ火 天ノカク山 萩 セ 蛍 [illegible]

豊浦 トヨラ 寺

同拾 かな [illegible]の[illegible]るに寺つなか [illegible]のとふれとよし

豊浦宮 大和 推古天皇之居

新勅撰 [illegible]をはとよらの宮つき御て [illegible]へわれとあいかりさす

遠江 トホツアフミ 好忠三百六十首

人丸集 [illegible]の山[illegible]のなかれると あれはまつかれなりかれてをの ひとまつよかるあふる秘すれて かたかみの[illegible]

遠津浜

万七 赤卸 千首 武者所歌之集

山こえて遠つの浜の君つゝし つこもりまさて[illegible]まてあまて あふをは[illegible]のまつの浜乃君つゝし いまや[illegible]

遠津大浦

万十一 赤卸 昌長云近江 浅井郡也 右同之

あれ[illegible]たは[illegible]うちよるかな [illegible]

鳥籠山 美濃

名寄

鳥松山 赤卸

[illegible]いさや [illegible]とよそ[illegible]われ[illegible]の [illegible]や[illegible]の[illegible]人とは

一竹　宮

豊浦寺　大和　推古天皇豊浦宮ノ跡ヲ寺トス

続古今　かつらきやとよらの寺の秋の月 みにかなはねけをとゝれ

花雪　続拾遺

光仁紀童謡　葛城ノ寺ノ前ナルヤ　豊浦ノ寺ノ西ナルヤ　オシトトシトト　桜井ニ　白璧シヅクヤ　ヨシラカヘシヅクヤ　下照ヲコレヲ得ル事ヲウタヒ　按シテ　カツラキノ寺ノ前ナルヤ　トヨラノ寺ノ西ナルヤ　桜井ニ　白玉シヅクヤ　ヨシテ玉シヅクヤ　下照　桜井ヲ　桜ノ八井トウタヒ　シラカヘシ　シラ玉トスリ　寺ノ名ヲ得シル詞モソノ称ニヒカレテ詠スサレト得レリトシニ知サランハロシシ　是ハ光仁紀得ル事ヲミテシルヘシ

アツラキ山　一竹

豊国

続古今　[illegible]

[illegible]川　夫木

・夫木二十　[illegible]

夫二十四　[illegible]

砥取山　山城

上総言仲哥　[illegible]

豊橋　大和

八雲ノ抄　[illegible]

綾嶺石　[illegible]

家隆　[illegible]

アラレフリ玉エリスエテミルハカリシハシヤフシツト・ロモノハシ

遠鷲渊

清少納言枕

天武紀　幸伯瀬　宴　遠鷲渊上　[illegible]

豊宮　トヨノ

伊勢

続千載　人麻　[illegible]

[illegible]

戸絶橋

拾遺

清輔　[illegible]

十緒橋　トツナ

千載

清輔　みちのくのとつなの橋にくる綱の 絶えすも人にいひわたるかな

利根川　トネ

上野

法師　[illegible]

鳥養　トリカヒ

拾遺

[illegible]

大和物語

万葉集

散木　[illegible]

取替川　トリカヘ

夫木

万十二

和名大和添下郡有鳥貝　[illegible]

鳥見山　大和　天武紀

鳥栖山　大和

和泉式部

[illegible]

新勅撰
浪よけは神ぞ定めし川の
石はふむともいさかはまり
下ハふテ上キニテ 有名 ヒトナ川 クル二ノ穴

戸難瀬（トナセ） 山城

金葉
大井川ちるもみぢ葉をうつれば
となせにおつる水のしらなみ
川 筏 月 紅葉 音 桂舟 紅葉
続山 一層 井セキ 井セキ 松 小筏 五月雨
名所 花 紅葉 千鳥 鷲 ツナテ縄イカタモトニテノ哉

鳥羽野 未勘

続古今
小鷹のとやのにかゝる秋の旅人
（小書）日本紀国ゝやのにかそ行はいりていそもとす こゆるまりよまうつ

十津川（トツカハ） 大和

新撰集
拾遺
十つ川よりおちて（流）ゆけえ
氷そあれてらくなてまかゝよ
又ミヨシノヽ山ノアナタノ一
音 民家 標 摺衣 五月雨 ムカシノ森ノ一
志賀 トツ川ヒヨメリ 一ニユミ

砥上原（トカミ） 相模

戸苅池（トカリ） 河内 推古紀

名寄
葉すゝき葛のはにつたひて
とくとりかにそらしるくみる
又 八幡松ノヤチヨノカケ
カタセノ川 浦チカキ一

豊川（トヨ） 三河

大二十に
和名宝鉄歌
旅人の手をまとこひもて
あをやまてさんとよ川のなき

豊島野 備中

日本紀

泊磯（トマリノ） 讃岐

玉葉
松かれとありの磯によわさ
若ぞさらば名のはれ

（朱書）云々

泊瀬（トセ・ハツセ） 大和

新古今
夕されはうら風さむしあまの小舟
とませの山も雪そ降らし
古十一 あまの小舟泊瀬の山をゆきのけるらく
香の里　舟出をてよ
とりおきてうちとつけたるうら点　泊瀬て
とませとおくうらたる泊瀬の山とある
ほへのり泊瀬にとみえる　そのかたよ
とませあるうあれ　萬物知るよしなし

飛火（とつひ） 大和

古今
かすがの飛火の野もりいでて見よ
今いくかありて若菜つみてん

豊受宮（トヨウケノ） 伊勢

未詳六一
ゆふまぬる民の名をやとりけるよ
とよのかみ見れとさりとの
又 卅に
あかるいのちしてゝはとようけの
かしこそあらめくてまつる

豊布山（トヨフノ） 未勘

夫二十九
時のうへ乃ととふの山は谷ふりて
こひつの杖も能さしぬらん

豊芦原瑞穂國（トヨアシハラミツホノクニ）

日本国号 新撰字鏡 瑞穂國入

豊崎宮（トヨサキノ） 摂津 長柄

孝徳皇居

隣里（トナリノサト） 山城

八幡宮 宮寺

せ　示　若菜　霞　雄子　営　言

蕨　卯花　薄　萩　粉
鶉　松　ナラ山　鹿　蕎　ヒハリ　菫　卯杖

十府

全集　浦月
みちのくのつらね松ひさしくなし
うへ［illegible］ふのすがこも

鳥払フ鴨　シノメヌ隆　土サヽ　アラレ

鳥羽（トハ）

名庭床浦
ツシキノヨ床イラナノミキニクラ
コホラヌ水ノヒニモトムラシ
床ノ浦抜字ナリメヘタルカ

春　子規　月　鵜　鹿　氷　松

いなかこのとこのふねよふさや川
いさしらへてわたりもそか

かの山川　ト浦路　携　旁　韵　猪　衣

砺浪山（トナミ）

越中

五十七　四十八　四十九　ツリヒク

礪波郡

夫二十一

若かよ鳥の思ひかくさす
あのひもあへぬよそれ一にも

よそふ手向の神にぬさまつり
ありこひのよく
あさまちのとをくね実

松月

斗具鴻（トツノミニ）

志戸

夫二十五

来云名月伊勢記ニ

おもふとこそれらし戸のなかれ
あくそらのむ［illegible］

飛火園（トブヒノツカ）

肥前

神中抄云故国行松

常世濱

丹後

風土記浦嶋子事

こゝにこひ都ゆとひきさる
とこよの濱ひとの言さこゝ

共潟（トモカタ）

五七

未詳

はまひれはさとはいてなきなの
戸よわさるあぶきらしも

友田保　山城　久世郡　出薬草惣三十種　風土記
侏儒

鳥飛山　伊賀　ト郡
此山甚賤而又其放奇昔大友皇子来此山暫休之
刀鉾ヲ多ク置給今国俗謂鉾国者此其縁
之本也風土記残文

鞆ノ尾杜　伊勢　多気郡
風土記云韓神　宮三座杜中　祭之時代不可知
又多狸狐鳥所

富櫨山　尾張　海部郡
同云出脩竹柴胡茯苓大會暑
在神号白鳥神日本武尊白鳥不化也白
鳥之神也山麓有神号橋田宮猿田彦神
不祭也
一本作猿

十市郷 尾張 海部郡
風土記云出紫胡椿油
富樫郷 同 同云上農
十市川 同云出年貢沙食加鹿自楽田口流入海
野老土山 同 中島郡 出狐兎 風土記
徳山郷 同 同云上農
遠山郷 同 同云無
豊田郷 同 羽栗郡 同云上農
鳥羽里 同 同 里中肥也 川出鮎
豊国里 伊賀 下肥也
友村山 同 丹羽郡 出松竹
鞆尾山 同 山田郡 伊勢乃会郡 鞆尾社アリ 疑昔伊賀 属伊賀之時日本紀ニ見ヘ人
同云右郡之東在神田鞆 以ヲ其依之 不名也

鞆浦 トモノウラ

今案 風ふきて とよむ浦をこきゆけは
 夕なミよする 立のかゝり
倚 ぬ 霧 藻
か
同案 白鷺 月 千鳥 アナシ汎
 倚ほ
新勅撰 まれなる月の影乃 櫂のしつくに
 ありしにはつきぬれ人やハ
舟
 建長八年 家百首 子ハフ台 舟 ウラワ
 月ハアリ—

跡見園 トミノ アトミ 大和
 百八旋了
 ゝ池 垂仁紀 ゝ驛 天武紀
 射目立て ことのもとまうち乃なくしこの
 わふさたちり あいでいふ人かゝ人のこ
 名寄抄

富小川 トミノヲ 丹波
 丈二十 大嘗會 菖蒲日
 擲ハの色もかはりてけふもなほ
 とらをまぬるとをもかは
 小渟ことの小川のあやめくさ
 けふをまちてそあやめとひく
 大和富小川ニ入ル也

富緒山 トミツキ 丹波
 長和元大嘗 主紀 主木 君ふ種
 君か代をよみつきの山のまくる
 ゆくえそ揚かる代かても

富山 トミヤニ
 備中 —り ふ

・夫二十

筑山のみなとりゆく名のかり
あへぬ国人をかりしれな

刀比河内（トヒノカフチ）

古今　お稀

あふらのとしのふちといつ川乃
うきもうきうにてあらいてみかよ

鞆岡（トモツカ）　山城

乙訓郡　鞆岡　和名度毛平加

神楽哥　清和源氏思ハし

ともをかいつ乃さそとわりら
うしにさしうまてみのつ

鞆結里（トモユヒノサト）　近江

和名ニ鞆結

夫三十一　集　法師

舟なりして鞆ゆひの里を高られて
よけてわれぬ浪の音も

床浦（トコノウラ）　未勘　秋わ見ニ近江ニ往拾遺の考
とあるへし

拾遺　霞月　よみ

やくとおくと枕のうへる志られて
床の程をとこのうらな

床海　未勘

玉葉

床はらとの影ここ浜波よるよるも
うらの中よりよしなうえ

常磐（トキハ）　山城

古今

時ひいつるよ紀の山の影そきす
かれのふり出てそうく

山　杜　里　橋　霞　鶯　郷　滝
蓋　月　郭公　紅葉　五月雨　落葉

常夏里（トコナツノ）　近江　未考

康治大嘗
悠紀四床風

やとしたる思けむのひありて
咲みれるとことなのさと

常世鴫（トコヨノシギ）　未勘

清和源氏鴫ハし

古礼しま

よそにし若世のまふこうち
あらしきけいうに忘ぬす

此ある本ニとよのの鴫よてとのへ入

床鴫（トコシギ）　尾張　未考

夫二十三

忘てひとらぬるよ此南さえ
よするみるいやふさうる

土佐海　土佐

・夫木集

人丸集　あとまみたけさいあ十れ
日あけて風のてんれて

同落ハとさ此山のせさゆるよう
新るう月のみけこえるなり

葛　麻　時雨　椅礼　夜達　苔

雪　松　柱

和　泉井　泉林サアノ　松虫　葉　雪
山吹　柱　[illegible]林　椎柴　山葵
ノミシメ　藻ノノヘ　卯杖　花　統　蝶
大井川　その石や　柳

常磐橋

色　一說奥州　[illegible]

紅葉

色くぬまつよりへて木ち乃
ときはの川よう保茂るらし

冨小川　大和

捨遺

いにしへ冨の小川の絶えこそ
わか大きみの御名わすれめ

冨鳴

ミツワクレ

急井水

椅は　万三　トシニ　敏馬　ミヌメ　古点　新点　同不

常磐山

トキハヤマ

土佐泊　丹後

土左日記ムカシトサトミヘルトコロニ住ケル女此舟ニ交シリケリソカミケテク昔シハシホシ名タクヒニツアサルアレトミテヨメル哥　年比ヲ住シ所ノ名ニシオヘハキヨル波ツモアハレトソミル

舟　渋　風[illegible]海

名哥　[illegible]　大掌

色くぬときはの山乃さくらもそ
いそひきしつ千代みらめ

常波浦

トキ

夫二十五　名時　雪

老[illegible]

天武紀　磯桙

[illegible]ひいつときの[illegible]にうきくもた
されきひとてひろもれなれ

土岐郡

トキ

夫三十一　美濃

天武紀　砥杵

仲文集

たらへのひひしきはいろさわら
ゆきふりとふれこわりありけり
[illegible]ひゆきしへやとてんかいかの
とれのこわりにしひのぬれと

時水

越後

猪日仲集敬ね写ニテ下リ行ニ時水トモ云ホラワタリテ上様トモ云ホニトモミリタルニ松虫ノナキキシカハ永ナラヌ人ハコシテトオモヘトモタレカタメニク[illegible]松虫ノナク

鳥合郷　口　口

出松竹赤原朴川芎民不用也
同云有邪之东北土地廢也焉民用少也

鳥取郷

トトリ　和名

和泉　日根郡

同云貢鶴一ノ雉子雲雀鶺红花桑麻木小村有鸡网村住昔仁徳天皇与酒君成放鸡之遊神取雉子之所

豊玉比咩神社　大口　イハタ郡

同云雄田各天皇十五年八月神行祭礼有神家巫戸得莫六月十五日之夜有草鹿之遊廢民之中長弓馬之者自國守令之令行此禮曰草印土民之称也

豊雷神社　口　口

同云仁徳天皇三年乙亥四月不祭别雷皇大神也

豊炊祢乃陵

トヨワシキチ

駿河　ウトノ郡

同云有度采女数子葬于此

止由気神社 同 同
同云泊瀬辺（崇峻）天皇二巳酉七月初奉例幣

豊積神社 同 イホハラ郡
同云日本武尊祭之地也國中二宮也

知

千年山（チトセ） 丹波
千載元暦 ちとせ山きみのよさきを栫ての
元大之 ほつえ手清のハ君かしあるら

荒 フモトヲ 杉シゲキ イサゴコリ岩ホトナルー
むう川 ーーシゲキ

千年山 近江
松遠ニ入デ千年山ハ近江ナリ
然ヲ丹波ニ入ルハ誤
松遠元保元 ことしより おとせの山ハ声たえん
大悠 君かこよゐそ いのりつるける

千賀浦（チカ） 肥前 和名 値嘉 松浦郡

千五百秋國（チイホアキノクニ） 日本國号
日本紀 ちいほのあきのみつほのくにの
大己貴 万代まても つきせぬやハらぬ

千葉地 万二十 下総 郡名
ちはのゝこれちしそのやすれとも
あふみすこし物をそさきぬ

千年河（チトセ） 筑後 八雲 或丹波
夫二十四
郡名 つくしなるれるしきちとせ川
高日ヒ はしつきよにつくへつ

拾遺
ちかのうらに波よせまさる…ひろはるゝ…

千賀塩竈
陸奥

新古今 月 ちかの塩竈 千賀 霞 焼塩煙 舟

カリネスナノリソ 秋

続後撰
みちのくのちかの塩竈ちかなから からきは人にあはぬなりけり

かにカキク時 月 寄一ノ 一統 武隈 霞 焼塩煙 千賀 舟 姉歯浦 ツヽシ 松

千代古道
山城

後撰 仁和のみかとさかの御時のれいにてせり河に行幸したまひける日
さかの山みゆきたえにし芹川の千代のふる道跡はありけり
在原行平朝臣

嵯峨ノ院ヨリ五十余年ニ及ヒ玉ハ…ノコルナリ…ヘシト…道トアル心也

千年淵
赤染

拾遺集
わか君しあらしや…のはちれ貝 ふこそ…のつらしよ

千々川
丹波

藻塩
ちゝわたるちゝの川せよ…

秩父山
武蔵

安頂紀 一 歌
このひときゝにつけてとゝめし ちゝふの山乃つらき…

茅渟
和泉

古十一 池 …
ちぬの海の浜辺の小松根ふかめて わかこひわたる人のこゝろよ

千田村
チタノ

赤染

拾遺
…ちたの村の…

筑摩河
チクマ

信濃

風雅
ちくま川…

細石

かシヅテ山 寄 入江 鷲 ツクマ川 水 寄

竹生嶋
チクフ

ツクフシニト

近江

拾遺
…竹生のしまの…

千沼
チヌ

摂津 血沼 茅渟 日本紀

万六
ちぬのうみの…

万七一首 同

近見山
チカミ

赤染

万葉
なけく人ちかみの山…

千代松原
筑前

…

千多浦
尾張

万七
…

千枝村　名所

続古今

榊葉の千枝乃村にゆふしてゝ　君のあそひの手向なるらむ

千坂浦　名所

千載

君か代の千たひはまし治なき　ちさかのうらのまさこなりとも

千尋浜　伊勢

拾遺

いせの海のちひろの浜にひろふとも　今は何てふかひかあるへき

千歳山　丹波

松葉集

やまひとの絶しと千とせなる　ちとせの山のひけるまつかな

鎮西（チンセイ）　筑前

拾玉

いにしへのひろきまもりをまもるらん　ちかひのちかひありとき

千束橋　名所

君か代は千束の橋を数へつゝ　たえぬちかひの末もはるかに

千葉里（チリヒ）　筑前

人丸集

千尋浜　紀伊

拾遺

古代てらへ入ぬのはまの千ぬの　ちひろの浜にさきこそあれ

千松原　名所

続古今

けふよりはちとせのまつは　君か代は千よの代

千葉浜　上総

ここにては千葉の浜に　ちよもわすれぬ

千種原　名所

いろいろの千種の花を　ちくさにもみえん

千種山　紀伊

千敷浜　出雲

夫二十五
いつわりのちかひこのうみのこゝろなりうたいてゆけぬ御しきの　ときの

千曲川　未勘
夫二十四
信濃仲
ちくまのかはのさゞれ石もきみがみよにはいはほとぞなる
ここにもゆくすゑをちぎりけり

千江浦　未勘
万十一
橘山石之とも　昌吉三暦田彩十橘君名
秋風のちえのうらわのまつしまは
こゝろいかなるのちはありねと

千里濱　紀伊
千里山　未勘　紀ニテ月ノ名所ヤ詠ランニ　ノイカナノミテ　紀ニテ月ノ名所ニテハヨハノ月　紀モ千里ノ浜ヲヨメル　名出之
伊勢
清輔朝臣　濱ハ――こそひろう君がかざしなれ
夫二十五
未だしれちさとのさとにうつされて
秋風ゆくかぜ――の雲
霞
月

千入岡　未勘
夫二十一
そめいれしちしほの岡のゆかりあれ
なかむ　おもひの　をしへこそ

千鳥　紀伊名所
万葉
あさかやちとりのこゑかくなり
くきの矢しそ　いとかはかゆれ
八千鳥のちよをへてこそちとせは一本の宮の岩
こゝあるてえぞの鳥の名をよみなるへし

千代山　未勘
匡衡
ちとせのあかれ山の色かへて
万代よもちの声をきかん

千尋海
紀伊名所　未出作者　文化御字
未出
六三
いつれもはの
深さとそへし
うちはへてなりけきことよ深さのかぎり
ちひろのうみのそこのふかさえ

千松原 讃岐

秀家

うつろせいふかの松乃すゑとりし
こゝろはつくはのうへる

龍瑞寺 美作 深名欤

風土記云皇極天皇三年乙辰七月祈雨安置
觀音勢至普賢之三像崇源法師居之

律壽量寺 讃岐 アヘ欤

同云高野姫天皇六年甲午四月安置無
量壽佛

千座里 伊賀 安乎欤

同云中肥也故國明神之摂社多居此里
故有此名也

千栖郷 二和泉 美作 イハタ欤

同云貢梅竹諸菓物之中貢之又有模
脱之美献膳部料

中蔵寺 讃岐 イホハラ欤

同云神亀三年丙寅三月竹蒲法師開
基也

利

龍門　大和

古今　りうもんにまうてゝ滝のもとにて
よめる
たちぬはぬきぬきし人もなきものを
何山ひめのぬのさらすらん　ムナシキニカ

滝　桃　霧　仙人のあと

ちよふとて人もいはねはかはれ出
このもとにこそ

奴

布引　摂津

古今　布引のたきにてよめる
こきちらす滝の白玉ひろひおきて
よのうき時の涙にそかる

鹿　五月雨　月　紅葉　雪

か
螢　氷　ゝ川　桜　菖蒲

卯花　納涼　秋　夕へ　萩　蔦　麻

渟和川　ヌルヤ

万十一　未勘

秋柏ぬるや川への小竹のめの
人にしのへは君にたへなく

名義抄不見

沼川　ヌニ

万二十七　未勘

[illegible]ぬる川乃
あしたのこと[illegible]

沼名川　ヌナ

万十三長　未勘

ぬな川のそこなる玉はもとめて
えてし玉かも　ヒロヒツヽエテシタマカモ

沼入江

玉葉　赤染　但馬名所

はるされはぬ戸の入江のこもりくに
岸に獺の床も寝なりけり

沼尾池

又二十三　北陸

ぬ戸のとの池のむこうは沼代なり
たとゑや　ふりくらゝひ寝ん

此寺は上野かの沼まうちて此やかりゆつうり
沼尾社の池のあさいさたくえて沼代になりけり
あくるてと此ふもおすくし　此事すて未考

布引山

又二十　伊勢

あしひきのやまてらそのゆふはえに
ちり消ゆる布引の山

貫川

ヌキ　又二十　三河

催馬楽

ぬきかはのせゝのやはらたまくら
やはらかにぬるよはなくておやさくるつま　親さくる妻は
ましてるはし　しかさらはやはきのいちに
くつかひにかん　くつかははせんかいのほそしきを
かへ　さしはきてうはもとりきて　みやちかよはん

沼木山

伊賀　名張郡

有郡東北多出松栢在神曰沼木宮
足仲彦天皇宇奉崇所也　已上風土記

仲哀

壱

小緒 莘男丈壮乎呼 鳥尾
塙哀 ホノ文字

小墾田宮（ヲハリタノミヤ／ヲハタヽノミヤ） 大和 推古天皇之居 板田於因家

続古今
をはりたの板田の橋のこほれなはけたよりゆかむなこひそわきも
（後撰）

姨捨山（ヲハステ／ヲハタヽノ山） 信濃 亦名冠山 更級

古今
わかこゝろなくさめかねつさらしなや
をばすて山にてる月をみて

郭公 月

夫木 ○ 五月雨 梶

冠山 人丸集 秋風ハ冠山をあきて渡る雁かね

姨嵐（ヲハカミ子） 紀伊

万葉集 とこよからよせくる浪のをはかへるらむ
なかるゝ月のしたにみえけれと
ときえぬにいつまてなかめとこよいつも
月まちこゝろのなかにこそあれ

小林（ヲハヤシ） 播磨

夫木集 法の糸をこよりしてあふりのあふえとて
すみわたりしれてなれむかひし 経房
旅人のゆくさきにちきりむすふも
つきそひてまれにもなれ

小濱 志賀

昌喜云住吉於濱元 名伊勢

あたゝかくとなるのはときこそなれ
見わたしの風はかくらし

衣笠宮 寂念

参波田里 志賀 貝通万葉ニ カリソメノヲハタノ里ノトコヒサシ トミヌ袖ノ露ヲミセハヤ 同志

男山　山城

古今　月　雪　杖　峯

栄　ヤハタ山　ヤハタノ丈
生ツ松　カサシノ花　ツミノ衣　川セニハナツイロクツ　サカエツ　岩シミツ

をみなへしうしとみつゝそゆきすくる
をとこ山にしたてりとおもへは

尾駮牧（ヲフチノミマキ）　陸奥

後撰

みちのくのをふちの駒も野かふには
あれこそまされなつくものかは

後拾遺

[illegible]

小川橋（ヲカハノハシ）

拾遺

筑前　八雲ニハ筑前ナリ　新古今ニハ陸奥
今案此橋八代集小川　無之

[illegible]

尾張（ヲハリ）　人丸集

小畑家（?）　玉手箱記詠唐舟
一郷　羽栗郡
日本紀云天種子命討伐佩室屋并海部氏族之名　略

[illegible]

平波（シト?）　近江

万十七

[illegible]

平等女（シトメ）　播磨

万十五

万九イニシヘノサ田ツトコノツニトヒシヲナニシトメノオキツキトコレ
右之事尼菟女墓時作并

[illegible]

越大野（ヲチノオホノ）　大和

三帝紀　平知也　法稱コスノ大野ヒ上テ
称撰集ニ出

神名帳　宇治彼方神社

彼方（ヲチカタ）　山城

五社百首

[illegible]

岡邉（?）　駿河

新拾遺

[illegible]

岡田原（?）　伊賀（?）

松　月　厂　霰　萱

続拾遺

[illegible]

小笠原　甲斐

夫木

尾花　ヒハリ

[illegible]

小沼田（シヌマタ?）　尾張

拾遺愚草　下冊

万十三　長

[illegible]

小川　山城

拾玉

[illegible]

うちの小川の松の木末を

忍辺原（?）　武蔵

好忠集

[illegible]

忍田加茂（?）　山城

忍田井　古今　第一

[illegible]

新撰六帖　下訳

[illegible]

緒絶橋 陸奥

ヘミノミヤキ カヒノクロ駒 ハルフチノ駒 ヤケノヽ岸 スクロニヤクル下草

後拾 道雅
みちのくの緒絶の橋やこれならん
ふみゝふまずみ心まどはす

新月 や し江 引琴の一 逢坂

小野 伊勢

金葉 [illegible]
さゝれこのそのふえに柄いて
秋のゝくへのみかとかたみ

流江 ある 芦 洲

文 [illegible]
ふりそのえのりし ミツキ 松月 橋 舟

岡淀 文三十

備中
文九云備中国[illegible] 小田郡
居汲
山 [illegible]
とゝのこにあらし行 [illegible]

岡野 未勘

岡崎 万十八

一循山山城或云大和 所名不見

[illegible]

岡屋 山城 宇治郡

[illegible]

小野 山城 宇治郡

日釈教
新拾 [illegible]

小野 山城 愛宕郡

[illegible]
つゆき

小野 炭竈 里 山田 梅 霞
[illegible] 郭公 [illegible] 氷室 雪
[illegible] 月 [illegible] 鶉 ノ 松虫 萎
[illegible] 雪 竜 [illegible]

岡本宮 近江 ひつ川橋 大和 滋賀郡
風土記云 [illegible]
雄[illegible]三年 [illegible] 月 [illegible]
舒明天皇之 [illegible]

雄神川 シカミ 越中 万十七
子ヒロタカヤ
[illegible]

男神 シノカミ 常陸 万九
シノカミモユルミ タメニリ メノカミモ
チカヒタマヘリ
[illegible]

愛宕 シタキ 山城 郡名 文三十一
[illegible]

小野御牧 ヲノミマキ 夫木 [illegible]

萩 [illegible] 堀 菖 [illegible]

[illegible]

小黒崎 ヲクロ 陸奥

古今

とくろさき みつのこしまの人ならは都のつとにいさといはましを

小舟 ミヲツクシ [illegible]

小鹽 ヲシホ 倉名 山城

[illegible]

小田 万十八 陸奥

[illegible]

小田渡 名寄 備中國 [illegible]

鳴瑕 ナルカ 大和

小津 ヲツ 和泉 日根郡

尾津 ヲツ 伊勢

古事記云 到坐尾津前一松之許先御食時所忘其地御刀不失猶在爾御歌曰 右日本武尊東征御帰路也

和名 桑名郡

小倉山 大和

古今

夕月夜をくらの山になく鹿の声のうちにや秋はくるらん

山 嵐 時雨 月 [illegible]

カケノ岩 谷水 ミモトノ里 ヲモトノ松 [illegible] 萩 クツハ虫

[illegible] シクエクノ水

続古今

[illegible]

竹取物語 [illegible]

鳴武羅嶽 ヲムラノタケ 大和

日本紀 雄略天皇御製

[illegible]

尾上里 ヲノヘ 夫木十三 播磨

[illegible]

小池渕 ヲノ 夫二 紀伊

[illegible]

雄湊 ヲノミナト 夫二十五 和泉

[illegible]

和名 呼北 神名帳男神社

今案 神代紀 紀伊 此名アリ

小鞍嶺（ヲクラネ） 大和

新古今
[illegible]

万九巻 白妙の [illegible]
家隆 郭公

雄琴里（ヲコトノサト） 近江 未勘 備中

金葉
[illegible]

又 [illegible]

嗚呼見浦（アミノウラ） 伊勢

万葉雑一 持統天皇伊勢国に幸の時 [illegible]
人麿

小池山 備中
小池原 未勘 ヲノ池ヤ／風ニシタツカルカヤ シトヤミミタレヌル 名出之

[illegible]
人の [illegible]
名余忘懐 出ス余ハツ八字ナリ

又
[illegible]
雅経

小山田池 未勘
[illegible]

小山田實 武蔵 家隆
万十四 川シナハ
[illegible]

小山田里 文永 出羽名所 紀
尾山 山城 久世郡 風土記云 出大材并多諸 ［…］ 開化の宮 此山出光 課土人令狩山 出一鳥 黒色大羽
[illegible]

小塩 山城 乙訓郡

古今
大原や小塩の山もけふこそは神代のことも思ひいづらめ

山 霞 桜 紅葉 月 家集 康
雲 雪 時雨 風 ［…］ 御

小塩 山城 愛宕郡
嘉禎二年 [illegible] 大原や [illegible]
松虫 [illegible] 河 つれ 雉 スソノ 滝
メグリ車 水をの [illegible]

嗚呼見のうらに舟のりすらんをとめらが玉ものすそにしほみつらんか
万葉一 第十五 共ニアミノウラナリ
ミルメネスス ヲミノハマ

小山里 [illegible] 未勘
[illegible]

尾布渡（ヲフノワタリ） 近江 未勘
[illegible]

尾布浦（ヲフノウラ） 数名 越中
万十七 長
同十八
舟 霞 タルヒメ 藤 フセノ海
[illegible]

小総驛（ヲフサノウマヤ） 相模
延喜式 驛馬小総 各十二疋
大和物語云 [illegible]
[illegible]

拾遺 主基方の時大嘗会に悠紀方…けるか小塩井の…
のに…乃…けるに…とけるか小塩井乃
乃…つりけ
ちはやふる…このこ…に…なれそして
…のの…乃…に…ゆきぞやみし
えし
小塩山…みそれ…ける…し
…や…つ…の…ゆき…なりらん
この小塩山愛宕郡なる…に…小塩井乃大原…
…出…とこ…て…りけ…新古…
…に…て…大原山…よりきや
…小塩井乃…山の…こそ…ち
…けるの…すとて…つの…川の大原…
…を…とも…れは…拾遺ニ…川の
小塩井…ハ…り

主基方大嘗会悠紀方…新会 国…
…ゆき…つてすこ…
…て…りけ…

小塩井

風雅 …太神宮…ト…
伊勢
小塩井…ける…
…

小埼沼

武蔵
…
…
…

尾埼隈

未勘
…

小篠宿

大和
山家集
…

荻原里

三河
…

雄島

ヲシマ
陸奥
…

小比叡

ヲヒエ
…

姨捨山

ヲステ
紀伊
…

小塩浦

加賀
萩浦
将軍家歌合
新撰
…

男鹿原

ヲシカノ
駿河
…

小嶋神

ヲシマ
未勘
…

小川橋

陸奥
…

月　△三　ミラ玉ノ　家

アシヘユツ―　アマツ舟―

一里　上沙

・同三十一

志ら浪のうち付るみて はらへ
たうえの里まさけうれ

雄鳴　丹後

小川社　越後

拾遺仲集九月十二日小川社ニマイリテ月イトアカシ
トテ人々ヨロヅノ月ニテヨミシ所ヒトリノミヲシナナラスハ
此分越後ニテトリ作りし

小為手山　紀伊

万七

アタヘユクラステノ山ノ一キノハモ
久シクミテハコケ生ニケリ

荻野　伊勢　兎矢郡

風土記云此地多諸多又有名竹

尾越山　尾張　海ア郡

同云出茯苓山椒桔梗木有名桂樹取之
工家用筐櫃之類在神云斂田神也
舌田連遠祖也　一作熱

斧根山　同　揖栗郡

同云中農出名材亦独活當帰芎藭
柴胡茯苓ホ

乎義祢里　伊賀

中肥也有神号天皇所祭素盞烏
尊也

小江神社　近江　浅井郡

同云不祭事代主命也敏達天皇之
年始神祀

男神神社　和泉　日根郡　和名呼嘅　神名帳曰

同云不祭伊弉諾尊也崇峻三年庚戌

八月初加神礼奉圭田右神家巫戸祝
ア祢宜ホ

小野郷 をに イ多数

他田 讃岐 ウトノ数 和名他田乎佐多

同云其産同雪鴻

鳥澤 同 同
同云貢鯉鮒鰻海甲ホ 貝子

雄鴻 同 イホ多数
同

和

我立松 ワカタツマツ 喜 元此名ホ伝教大師のわかまて杣とありけり名ホとなれり

新古今 伝教大師 あのくたら三藐三菩提の仏たち わか立杣にみやうかあらせたまへ

月 桜 杣木 霞 枕 三ノ品 二ノ道

新古 信承 三手未る三ぶ千に松も仏ノ手 太夕ケ

若浦 紀伊

古今 赤人 わかの浦に塩みちくれはかたをなみ あしへをさしてたつなきわたる

霞 月 千鳥 雪 芦 鶴 藻

玉 舟 雪 貝 焼塩 塩屋

玉津島 松原

和珥野 ワニノ 大和 采女歌

古事記 日本紀 ノ坂 続日本紀 ノ武鎌坂 宗神紀 ノ津 仲哀 ノ池 仁徳

いちひ井のふふのこをそいりまれ えるあろけし

和平可鶏山 ワラカチヤマ 万十四 相模

あしかりのわをかけ山のかつの木の わをかつさねも かつさかすとも

別鴻 ワカレ 出羽 古今

わかれ 納ところ皆ありいてそなる 別のかれ緒しとおもへて

わかのうら ありりすまゝ なき さらわ
いさり火 深く 三貝 ナノリ 紀
ハニュフ 苗代 入江アヤメ 芦ノ荻 言ノハ風

若松原　伊勢

聖武天皇御製 加茂松原ニ
今伊賀郡有和歌山

新古今 天平十二年十月 伊勢国にゆき
よみける 五六 聖武天皇
妹にこひ わかの松原 みわたせは
しほひのかたに たつなくなる

鹿 雪 霧

若松杜　未勘

千載 久寿二年 大嘗会悠紀方風俗
歌よみ 若松杜をよめる
皇祇まつる ためにとて 千歳ふる
ためしをこそは わかまつのもり
標結ふ さくら木の 榊葉をしくなねしの
みの松乃風の声つゝ

若浦 ワカウラ　未詳

夫木集
わかうらと いふ事はなの浦風かけて
はのよせは らくなくし

わかのうら 日本紀

若磯 ワカイソ　近江

名寄
駒とめて あかしかりし のちのちも
春行かね ゆかいそ乃まも

若草山　大和

万葉集
みかさ山 若草山よりさとしの
けさのたたえなめにまして

鶯

若松杜　丹波

兼保元大嘗会 永保トアリ 悠紀
二葉なる わかまつの杜としをへて
うとさ ひさしく 千代はひろしまと

若松杜 非名所 次郎為兼氏仲 モリノ木ホノ 茂ノシラヘニ ナニナヘス シゲナリヌワカスキノ

輪田泊 播磨

玉葉
たつ浪の しほれ波うちふの
をちかたや むこのうら風

大ワタノヘモ ワタノ入江 ウシミト アハチ島
ミナト川 ナルヲノ松 ワカサ松 千鳥
都る 月 村鳥 漁灯 ツリ舟
郭公 ヨフコトリ 車 船 苫 鳴

渡辺 ワタノヘ　摂津

拾遺
わたのへや 大江の岸に 宿りして
雲ゐに見ゆる いこま山かな

渡會 ワタラヒ　伊勢 郡名

和歌集 ワタヘ舟ニノルホ ソコトコマノ釆
未来はなの へやりのふかきとりしめて
つちのつかぬる

若狭 人丸集

ますらをは わかさの水をつむ芹の
ねふく人を こひわたるか

若宮八幡　山城

一説 山ノクロツミ

新古今 ゐ
もろこしの ためをともに

ゐせぬ ことにもあかれきん

稚桜宮 ワカサクラノ

大和 十市 履中天皇ノ宮

玉二集 名寄 芦屋 新古今 但藤
箕浦 兼好 芦ノ変 若桜 詞未来ニ
アサクロリ 文

神武天皇 大キミノ ユキトル 山ノワカサクラオチケル ホフカサクトリ
ミタカユツヤ 舟カナ サラヒト カセタ 履中巻 故事 ニヨレリ

渡山　石見

豕才浦 赤抄
若方ワヒワ 名ワカミノ ウラトナシ ハヤ コヒシキ人ノ シキナミニ タツ
イカミシワカミノ浦ノ空七貝
ムナシキヨトハ 思フモノカラ

万二 七
大舟の わたり乃山の もみちはの
ちり乃まかひに

渡鴫

玉三集
文花

情ア
あかねさす 日もかたむきて 舟乃
わたり の山に きえにしよ

新古今 忘るゝ代はよしなかりけりわすれじや いそぎ此川のなかれ絶せて

大川ノヘ ワカクヌキ ミル 一訖 ー川 忘川 ワタラヒヌ ー宮 玄紀

ーノシメ

忘井 伊勢

千載 天仁元年 斎宮群行の時忘井といふ所にてよめる

われゆゑはのちのこひしきいさぬひんつされ井の水

忘水 大和

新字 大和摂津未詳両ニケ歌く

新後撰 むかしら[わ]のつのわすれ水何ゆふ流るゝ絶ぬひいろん

忘水元非名不如堤水流ある不いつも まむへし 故不歌不

和田山 未勘

名畑山とも 風土記に南伊勢負兵庫在一嶽 田代山ニ材木様兎多

ワタヤマ 夫 二十三 あしがらせといふきけとおもうまに わらりのまをなおちてつる

新古 わが山のをおへつきれるある ふまであるらや人とよむなり

和歌嶋 安藝 ワカシマ

情中 ワカ わが山の地まさ不よそうそれと こはわれしまこれいかりしま

和豆香山 山城 ワツカノ

方三 ワツカソマ山元 ゆくまよりよそひてらつる山 みうしろくして

童部浦 参河 ワラハヘノ

名三河 紫式部集 水海おいかは津とよそきあおむとて わらはのうらと云入海のありしことを思ひそこを おいかは津志たりつゝやいさむらん はもきこえぬわらはへの浦

和深山 紀伊 ワフカ

名未詳 散木 こゑさえをなおかみさはわつかあや かけかへたれよふけ行ありけり うらかにたかみるをふくさん まむひさすよことをいいすせん

和暫原 美濃 ワキモノハラ

不被歌 方 わきもこかかさのかりての(わ)きさな うれいいるとしかしまうりけそ

掖上宮 大和 ワキカン

コヽツルキー カリ宮 孝昭天皇と居 ー池心宮 日

和伎覇里 紀伊 ワキハ

ワキヘ 方五 ワキハノソノ圧云リ ハテ里ア入之 よるされはつきの思れるこそにを あめこさりしる見まちそする

忘川 甲斐 ワスレ

つらさ川わたりやわすれぬうきせの
わたりかすみし神のかゐたる

又二十七 ハトヨリ道ナシトサメテコソイトフノ神モ立ハヨリケレ

ワスレズノ
不忘山　陸奥

古哥

みちのくのあふくま川のあなたにそ
人わすれずの山はさかしき

陸奥国之山
伊勢集　陸奥
能因歌枕　ーー也

和歌山　伊賀　風土記云土松柏木之良材又多矣歟
有浄足御不浄足乘子与大友皇子争戦之地也有神
号中地明神猿田彦舊跡也

加

河口関　伊勢

新後撰

くもりなく月すみわたる川口の
関もるもなく夜はをなかるらん

夏川口のくもりもてよの月はもゝたかし
ゆかわゆら　ノキ也

河鵜

千載

いつとても河中なるあはゝて
いかて北谷水　水守の橋はさ

又十七 ミナト入リツ沖ツ浜風夜キヨハ カハシニワタノテ鳴ナクモ

カホヤ
可保夜沼　上野

千鳥　ナチシコ　鶴

君がのとおれ沼はしまれ
かれたんはあさくなくる

カイツ
海津里　近江　八モ

拾遺

あふみ山雪けの空になりぬれば
かの川の里にあられふりて

河邊宮　備中

又三十一

白雲の波もあらきをみてく
かのやしにさけらみて

河邊乃宮

大和　孝徳紀

カハル
香春

豊前

金葉
あふみのかやかやのうちうちに ありとこゝをも咲きけるかな

イハヰツケ

帰山（カヘル）

越前

古今 霞 かへる山ありとハきけと春霞 たちわかれなは恋しかるへし

松 杉 楝 清か[illegible]山ハ[illegible]

万 五味 ［illegible］ 夫木 上

十五 ［illegible］

香取浦（カトリ）

下総 おまへの[illegible]

続千載 夏衣かとりの浦のうたゝねに 浪のよるよるかよふ秋かせ

月

かとりの沖 舟

百九

とよくふのかハつきへひきのこり いつかりすせハかハハつきへ

河田社

近江

夫木二十 西あ大

久方のかつらのかけとなりにけり 河田の[illegible]もすゝしかりけり

河田郡社アリ

河傍関（カハハトリ）

新六

未詳

川岸の[illegible] 川[illegible]の[illegible] [illegible]

河原宮（カハラ）

大和 十市 [illegible] 孝徳紀

蝦蟇行宮（カハツ）

鹿鳴（カハコ）

備前

[illegible]

陸野

近江

新勅撰 いつかわかまたなき[illegible]の うちわたりに[illegible]

萩 一条 ミシノ系 ワカナ 小町 [illegible]

梶鴻

丹後

続古今 暁の[illegible]つらし 岩こえ波の[illegible]

又一 秋吹越ル シホ風ニ タナミサムニタツリナクナル

狩道池（カリチノイケ）

大和

新勅撰 大和 [illegible] 万十二 [illegible] 大和也

[illegible]人の[illegible]池[illegible]

小町 アラレ [illegible]ナ アラ山中ニ [illegible] アマメ

萩 [illegible]

河俣江（カハマタ）

孝徳紀

[illegible] 海浜の[illegible]

むかし[illegible] このしふも名を[illegible]

やよひ[illegible]江の[illegible]の [illegible]

[illegible] 河俣郡社[illegible] 河内国[illegible]郡

河合（カハアヒ）

山城

[illegible] 川[illegible]河合流 [illegible]社[illegible]

七張ノ内

[illegible]の川あひの [illegible]月

[illegible] 川合の[illegible]

紀[illegible] 又 杉 [illegible] 一ノセキヤイ[illegible]

河崎（カハサキ）

山城

[illegible] 正觀寺

[illegible] [illegible]志ニ出

[illegible] 道乃[illegible]を川[illegible]ひ

[illegible]のたとひ[illegible]

狩蕗原（カリフ）

麻ハ刈りのかれて荊生ふまて 此名ニ

新勅撰 桜あさのかりふの原をけふ見れハ 外山にかけて秋風ぞふく

定家集 あき夕ぐれさとやしるらむ [illegible] かりのなきてまさる [illegible]

其ハ名所ト [illegible]

軽（カル） 大和

玉葉 軽の池の入江をめぐる鴨すらも 玉藻のうへにひとりねなくに

市 藻 社

カルノ池 六子ヒ山 イハヒツキ 一シトメ曲峡宮（ニカリ） イ作

刈萱関 筑前

新撰 かるかやの関守にのみみえつるハ 人もゆるさぬみちべなりけり

河鵜 陸奥

加波宇 [illegible]

名所 [illegible]

川鵜や [illegible] 名をハ [illegible] 川鵜の [illegible] [illegible]

河面（カハモ） 備中

和名加波毛

萬葉 [illegible] 名寛 [illegible] 丹波

いろ [illegible] 人の [illegible]

河尻（カハシリ） 摂津

土佐日記 いつしかと [illegible]

蕪家集 河尻の [illegible] 声を [illegible]

蟹満井（カニハノタヰ） 山城

蟹大也 アシテナキクニノ大也ニハナサンテ スルガモナキミタイカニセン 佐れ 名寄 此名ホ

和名蟹幡トモ加无波多ト注スル本アリ 古事記山代ノ刈畑井トアリ

鏡神 加賀

肥前 人丸集 [illegible] 佐れ

シノヤノ 夕丘

あら [illegible] かこのう [illegible]

鏡山

近江 [illegible]

桜 春 月 雪 紅葉 時雨 雪

あふ [illegible] 此山 [illegible]

シカ浦

松 郭公 [illegible]

郡池 大和

方二十

カハタノ原 五社

カハシノモリ 夫廿二

依日名 [illegible]

ますらをの [illegible]

郡沢 出羽

夫二十三

夫二十五

妍 [illegible] 未勘

柘社 山城 [illegible]

色カハリセヌカヘノヤシロカ

[illegible]

鏡宮 伊勢

續拾遺
神代より光をとめて於くまのうつしのやまをる月かけ

形小野（カタチノヲノ） 大和

新續古今
ひとめにしかたちのをのゝ[illegible]

万十二 ミヨシノヽ蜷ノ[illegible]ニカルクサノ[illegible]ミタレテ[illegible]オホキ蜷ノ字アヤ[illegible]カナヽトニカケル[illegible]アヤニ[illegible]

拾遺 カルカヤ 萩 [illegible]

片岡 山城

千載
[illegible]

神杜 郭公 [illegible] 苔 岩 笹

池 推古 時雨 木カラシ ミタラシ 杉 霞 モス 鹿 [illegible] [illegible] 紅葉 柏

[illegible] 花 [illegible] 椎柴 小山田 氷山 イカキカ原 ユフ 葵 ミタリ ミソ 柳

鹿手山（カヘテノヤマ） 武蔵

懐中
色々てのやまあとこそ[illegible] 萩の[illegible]

名寄 [illegible] 大和千ヤカヘルノ市 コトトハン アフミツテサノイカニカナヘキ 夫木 [illegible] 市

可刀利（カトリ） 陸奥

万十四
[illegible]

香取（カトリ） 下総

香取歌
[illegible]

文二十三 史俊 [illegible] 上総 康[illegible] 香取社 [illegible]

鹿取宮（カトリノミヤ） 伊勢

[illegible]

片岡 大和 名 河内

古今
[illegible]

蘆 [illegible] 岸 [illegible] 紅葉 [illegible] ナミヨリフ 夕立

山 池 雉 若菜 [illegible] 麻
萩 [illegible] 雪 紅葉 郭公

[illegible] 小松 ミカキカ原 鶯 花
[illegible] 池 推古紀 イハトモ [illegible] 月 [illegible]
[illegible] 葛 紫 神 鬼

交野 河内

後拾遺
[illegible]

[illegible] 衣 [illegible] 雉 五月雨 橘
[illegible] 鹿 [illegible] 村 [illegible]
[illegible] 天川 螢
月 [illegible] 霰 [illegible] サノ [illegible]

雁羽小池 万十二

[illegible]

名寄云 [illegible] 但 [illegible]

鹿霞岡 未勘 [illegible]

秋[illegible]

[illegible] 荊池橋 常陸

文二十一
[illegible]

名寄 [illegible]

借鵠 未勘

明玉
[illegible]

堅田

名所

アラシ ミツレ 舟楫 天に 荻葉 荻の花 荻 蘭 和歌杉 ナツナ 松 山 行春 波 浪川 紫 秋明 燒火 鴫 イコミ ツハナ 菫

續拾遺

浦 沖 霞 舟ウケ

ほのかなる紀名やたれ人あやふさに さすかおもしのうれおろく

形見浦

紀伊

新古今 千鳥 かゝみ 濱 紅葉 ㇾ 蘆 ㇾ 池 網

風さむくよさのいかゝ…… かなしらにおもほゆなり

月 千鳥 藻 舟 釣 妹の様

かゝ濱 うつせ貝 露 舟

借高峰

借香山 未勘 万六 百十 カリカ子ノ声キクナヘニアスヨリハ カルカノ山ハモミチソメナン

大和

橘山 立し

万六

なくなる沖つの様 ゆくまへて つねにはいちとせをまつ

かねさるのたちまる山をこゆるとも いてゝる月の松かくれ まちつるを秋ふかくなるかの ゆくさへほとくる月あらも

甕原明宮

刈萱関 風俗 東路

ロツニチロカルカヤノ関ノ大路セキ 此名箴者二出め此ハ東路二モ項同名先

忍頂 天皇之后 新上ノ杏人池生 大和ミ布政

かしも浦

未勘

夫二十五

いまさらに夕日こそへ小舟さす あかのあかしも今うつなり

千五百番 うちつつるかのあかしも見えれは うらしこたにあかてそよや

ヲクヒ 昌喜云 雅詰 此晷語也 未ヲ鯛ニ入タリ

鍋山

名所

今案

あふことをあうかけつかかれ出る 名にこえ人をわくさし

加賀

上三入ヘシ

人丸集

おくの山けうつのまとまちらへて ひとつまのをうかなふ

鏡川

土佐

夫四

天南万或成中

萬葉 月 こくつ 柳 名所

花のちるのふれ乃かゝみ川 日をへてえいちつへりかれ

鏡池

名所

美濃

未勘 夫木山を紀歌美濃谷替

夫二十二

清かの池と池かくされけさ 水さへのなかくされ池よすむ月は こうつみもをかてそゝ

藻塩云

雨のけるこうつそかくむもの月そて かゝれ池もこうつらえくそ

つれつるもそきまにかゝしのねもれきよ おもそて木まうしすまてみえと

鏡浦

未勘

続池 古歌 五所左記載治南社ト云アリヒ 月

桂

山城

古今

久方の中におひたる里なれは 光をのみそたのむへらなる

宮 里 川 嵐山 梅 楊 紅葉

螢 樵舟 月 擣衣 紅葉 落葉

雨 加茂祭葵

柳 かゝ女 鮎 かた任出 若 浅 ゝ寄

ほとゝきす ゝ人 柳ツ川ノ柳 カモノ花 篝

桂山

丹波

続古

新勅 大宮前 名をえし月のうてれまて人を とよのあるりにあひまれ 照月のうつれ山も宗めしして かつらるゝまた あつる秋

か 葵

葛城

大和 古今　一言主神社 葛城郡地

しもとゆふかつらき山にふる雪の まなくときなくおもほゆるかな

山　峯　神　橋　霞　桜
五月雨　冬　柳　月　紅葉　時雨
雪　風　雲　春永　尾[illegible]

かつらき　郡モ　オスシメ
久米路ノ岩橋　クメノカケ橋　一言主　山伏ノ柴灯火
イナツマ　杉　イツル月　ナカノツネ　カクイハヤ
ミツレ　ミカリ　一言主　スソノ　玉ホカツラ
石橋　一言　雲　雲ノムラ雲　高間　一ノ

勝間田

奈良ハ大和又美作　美作沖寿　和名美作勝田郡 加豆 万多　和名[illegible]郡勝田 加豆 万多

大和　名所

顕昭云ハ下総　万葉十六寄陵羽田部　[illegible]勝間田池ト大和ニア　いけナル池ナルハカラス

後拾　蓮　鳥　氷

鳥もゐていくよへぬらんかつまたの 池にはいひのあともなし

万

かつまたの池はわれしるはちすなし しかいふきみかひけなきかこと
[illegible]
[illegible]
[illegible]
あるここに[illegible]ましけるとて

柳　鴨　鮭　芦　桜　五月雨　イヒ
ツノスカシ池　紅葉　[illegible]の　[illegible]池ハ[illegible]
以広田社所合祭也不審也名

葛飾

下総　名勝　鹿

新勅撰

うしのまにかつしかの舟の 舟人さはく[illegible]ことし

五月雨　一ノ橋
一浦　ワサ田　一川ツヒ橋　一ワセ
川ツヒ弥木

金嶽

大和

千載

金の嶽[illegible]よりてみよしのの[illegible]つけて
[illegible]

鏡山

万三　保憲女集

[illegible]
[illegible]

おほきみ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

鏡山

山城　万二

天智天皇御陵

かしこきやこころのつくも[illegible]の やまこのやましな

韓良山

丹波　名寄

うつつの[illegible]山なれし

[illegible]この山乃[illegible]
ゆきそちらせんすいかりけり

那木

山城

日本紀 [illegible]池アリ

片岡里

俊頼集　ま二十二

[illegible]
[illegible]
[illegible]

片岡

名所

正治大学　懐紀

[illegible]
[illegible]

片徽入江

カタソキ

方書　未詳

あ[illegible]
入江[illegible]

片岡沖

未詳

[illegible]
[illegible]

莫さへんかの唼てかへり行く乃
雲きもちらせ浪のよりし大

金御崎　筑前

万ミカ子カタケ　雨　雪　ヨシノ川　ミロクノ世
夫ニカ子ノミ子

新後古
ちはやふる
かねのみさきを過ぬとも
我はわすれし志賀の皇神

新後古
ゆくてにはかのみさきの秋の
ゆふかせも身にしみわたる

辛荷島

カラニ万
カラカ
新撰

亦
ミカノスメ非　汐声ヒヾリ激　ツクシニテル

續後撰
嶋隠
風吹浪起韓人被船不漂く
あまをとめ
あら浦にさるかの嶋にむすふ
あや伸もみてぬおもひのみ

万六
ミニキハ
あち嶋をよすさし又イナミツツモカラニノシニ

かたの大嶋　筑前

万十五
大ニ十二
はらちのかたの大嶋志かしくも
きこえさらなんを妹まてきぬ
あふとのさの大しまいさつり
ものつくしみなよしやれ

片加比川　越中

万十七
万云婦負郡
カタカヒノ川ノ清セニアサヨヒ毎ニ
立霧ノ
アテタキツヘシ　絶ルコトナリ

浩山　美濃

カタラヒ
カタラヘ
夫二十
名所秋　陸奥先く
さよふけてかたらい山乃ほととぎす
ひとりね覚のとこにきくかな
うき身をハ人たとくもあらしきす
おもひにかせて君とへの恩

恩
清輔抄し恩ハし

かたの浦　未勘

紀伊歌枕　是色　紫沖院

唐琴泊　備前

古今
波のを
波の音乃けさからことにきこゆるは
春のしらへやあらたまるらん

松　五月雨　月
大和は
春このひなの浦風かふくらこと波のて
ちりけてはなやひらん

辛崎　近江

古今
月　音　氷　松　網　篠　比良
みかさまはいつもさびしき浦なれど
浪ちはおもしのこりさりける

古今
浪かけしさだハし
一演　大宮人
ツル　一本云　沖ノ舟　柳　五月雨　郎公
ワシノタカ子　電　氷
母子花

夫二十五
あさ手かかる風たつかみ
けふハいて紫あやの浮かさ

片恋園　陸奥

在
杜
笹
みちのくにありといふなるかた恋乃
岡をつつみとなるよりも
うき恋わたのよのくちなむとも
みひのかのまつちろハん

片足羽川　河内

万九巻
右見河内
独去娘子歌と
しなてるや　かたあしは川　さにぬりの
大はしのうへにと

形見山　石見

万廿五
石見
家持
藤塩八ケ日と
恋しさのかくさもやそのかたみさてハ
いさやちらのそのかうもねん

子乃川

神楽岡 山城

千載 後一条の院の八講に菩提樹院にまかりける人々帰りて卿の返歌侍りけるよみける

いにしへを恋ひてひとりこえくれば なくなる山のほととぎすかな

か 紫 高岡 松

竈門 筑前

拾遺 元輔 つくしへまかりける時かまど山のもとにやどりて侍りけるに道づらの木にふるくかきつけて侍りける

春はもえ秋はこがるるかまど山 かすみもきりもけぶりとぞ見る

とありける文字なむ [illegible]

片塩浮孔宮 大和 安寧天皇之都

片□山 河内

名寄 名所

夫 [illegible]

かたちのやこなたの山のうらしうり 雲ゐにとほく鳴くなる [illegible]

片佐良山 美濃

夫九 上信山ノ 云ナリ

同十二 上片岳国 云ナリ

さよふけてかたたひらの山のおくの [illegible]

ひとりねざめのなどなかるらん

[illegible]

片瀬川 相模

夫二十四

うちわたる [illegible] 片瀬川のかはひをまつ [illegible]

鎌倉里 相模

拾遺

宮柱ふときたてて万代に 今もさかえん鎌倉の里

か 鎌コルトハ山ノコタル木 ミナセ川 星月ヨ 鎌倉 一鍬 ミコシノ嶺 ミコシカタケ イハクエ 雪

民戸ノケフリ

蒲生 近江

カモフ

拾遺

うまのつむのそふるすむつの かたくせいは君がことよのとすわる

蔵

か 紫ノ ミメノ 蘭 菊 花

桂浮

名寄 筑前

秋萩の花さく月に夕かけて 山すそてくらきの中みち

枯木浦 丹波

名寄 丹波

枝モナキカレ木ノウラモ風ツケハ 浪ノ花コソナリミタルラメ

名寄云 丹後名下ニ出

葛鳴 カツラ

夫二十三

たつねてさそふ [illegible] いそふやものを [illegible]

葛野 カツノ カトノ

山城 郡名

或神紀 一時天皇 秋津を於海国之時御立宮 遅地上ニ宮ニ葛地ニ斉云 チヅカツノヲミレ百千タルヤニハモ三王國ノホモ三エ

夫二十一

旅人のゆききもみずまなりけり [illegible] 里のけさのあさぎり

勝間浦 周防

延喜式周防驛 有勝間驛

和名佐波郡勝間 加新万

夫嶋集

まつきつつゆくすゑてらうまやしいほまて

[illegible]

蜻蛉小野（カケロフノヲノ／アキツノヲノ） 新古撰 大和

ちる花もかすみにこめてみよしのの
をののあきさわすられもせず

分 萱 浅茅 萩 御宮 雪 尾花
新古 蜻蛉カケロフノヲノ カルカヤ アキツノ川 月

可家湊（カケノミナト） 未勘 但示國

万葉未勘國ニ系 日本紀ニハ丹波國浦
続拾丹後 魚水門ニ藻塩丹後
ト出セルハ是ヲ云ト丹後ハ
丹波ヨリサカレタル也

新後拾今
霞さむき芦のまよりみわたしの
いつらかけ乃こゝろをかなしむらん

続古 塩ムカフカケノミナトニイルナミノ
アハレワカミノ出タタノヨヤ

新古
万ナミアチヤニノカケノミナトノイルシホニコチタスト
ソモカイリテ千モクモ ヲヨチテ 月 松 千鳥

魚鳩 夫木ニハカミ浦トス 未勘

あもよいてこそしくしけ鳩の
峠もさこそハ山名をえし

勝間田里（カツマタ） 風土記和名田ノ字无

文三十一 苗代

いまはよ菓川でみなとよきて
と人ともよみまさのさ

風土記曰 遠江 和名蓁原郡 勝田加都万多
秦ニハ大和或菓原ニ

ちりやみかるらの原小松なしてをちてつくすかもらん
石橋ノ考ハ立本 以マ之備ナテ入ホ集ニ 大和トアリ

勝間田池（勝間神社 日本 風土記云孝元天皇三年祭之則不花咲耶比咩也）

右之集ニア池の名をそ みまなの田と
これやみのまこことぶへうつきのなきを

美作 和名勝田郡 勝田加豆万多

金山 勝手神 大和 宗良親王ニ千モチカヒアル播テノ神ノ名ツキケハ 花ニアラソフ風モフカシナ

文二十 陸奥

名ハ千代カトニナクなる
八雲 但万葉二首ナアキ山ト点せり

うかみるかくわきせてとさいはれ
うたにかひけりむこのとくらさ
カナ山ソ千代カトニナク声ノ
声クニキカハ何カナケカン

加奈井山（金之三崎） 丹波 名加納

荒本
万七千ハヤフルカナノミサキシスクレ尾我ハワスレスミ加ノスメカミ

新古 続古今カフー

賀古 情ノ
拾遺 月 こと名所事 日本紀
たかのかまつふうに吹こる乃
あるなきしきく人やら

香久山 香久山 共夫香久山ニ出

笠取山 山城
霞 弱舟
かるうするあしのとうきさかてなりあり
なかそのこの婦人 聯 寄 流 イナミノ
夫木 作法又山中ニ

古今
雨ふれと露もきらしてをきれの
といいそのめみちなるらん

笠置窟 山城
分
麻 郡名 清雅天 ウナカツク 山シナ 炭ヤキモヲル
材日 夫木ワルタクミ

金鋺園（カナスキノソノ） 文二十 大和 りか

いなきとるか井の山乃こねろう
えもつはねもの山るなる
いのるふこといるかのもるる
えらうやれけるみそけり

古事記雄略天皇欲大皇行幸于春日之
時嬢女逢道即見以幸逃隠岳邊而作
御歌 其歌云
をとめのいるか岩とをかくれくる
ちもすたえゆかの

故号ニ其園曰ニ金鋺園ニ

唐橋 山城 備中

三代実録云 元慶三年九月廿五日
是夜鴨川ノ辛橋火焼断大半

うれしきはゆきかえるさきかる
かくらしのよ人とあやし

韓泊 筑前 百十五

志一一説
からとまりのこなかはうちよせ
あれしいよくうかいるし
うとかう夜のまつとかれつを
せのひかるとうかるひし

独泊 備前

韓竈 讃岐

千載
名にしおはゞ花はゆるぎの森にしも
いかでか鴫のいはずなるらむ
法性寺入道
泉川 若 ゆハリク　法ノ部 橋 五月雨

笠結嶋
参
霞 か
万三
國未定 八雲ニ摂津ニ入ル字ニハ 笠縫
志はつ山ぶり出てみれば笠ゆひの
嶋こぎかくる棚なし小舟

加佐之家山
赤人
和歌
日暮ればかさきの山よりそらくれて
かみちの行乃月をみるかな
あの守ハ杉川の紀高乃素云法師ヨリ
法けり守とそ
カサキノ山風ニ立テ カナハタノ
ミコトハリ 波ヤロクラン

辛浦
周防
名寄
たのめどもあふ戸のこなたもえぬらむ
いくよへきりのよなるらむ
五十五 熊毛浦
船泊之夜作歌
沖へより塩みちくらし からの浦
あさりする鶴なきてさわぎぬ
熊毛郡

辛崎
カラノサキ
石見
万二七
楢山
角サハフ石見ノ海の言さへくからの崎
なるいくりにそ深みる生ふるありそにそ
玉もは生ふる

枯木浦
丹波
播中
かれ木
枯木浦かれたる木にも風ふけて
花この花こそちりみだるらめ

杏人濱
万九
赤人
あさかへりつきそこし舟かく人乃
ことさえ見られいまくるなり

風越
信濃
詞花集
郭公 月 雲
か
キソノアサ衣 鐘 スソノ、尾花 雲 花
梢花
かさこしのみねのうへにてみる時ハ
雲ハふもとのものにそありける

亀岡
名
後撰
後拾遺ハ山
か
新 毎集 若菜
万代をあはせてこゝろてゆくかな
亀のをかに松のこゝろは

亀井
摂津
後拾遺
万代をすめる亀井の水ハさは
富の小川のながれなるらん

韓人池
大和
丈二十三
應神天皇四年造之
うしみのあかりかものむしろ
作さそめし から人乃いけ

烏川
赤人
新集
からかはうらむらぬ烏川
こゝろやいかんとハゆかむ

烏嶋
伊勢
山家集
うきさきのえふかいよるかな
いもすしらぬならしまれなり

上野
カンツケ
人丸集
たまさくらよせ桜乃ゆかん
つけよふちものさかりを

上総
カンツフサ
人丸集
ときまんつたれかハみやまも
かのかたハありといふなり

可牟総根
カンノ子
赤人
楢山立てし

亀山　山城　亀ノ尾ノ山トモ

古今

亀の尾の山乃いはねをとめておつる
瀧の白玉千代のかずかも

岸　様　月　嵐山　松　御幸

筏　清瀧

イハホノ上ノ松ニ　奈河　柳　ツキホ　ツル
舟　廣サ八　雪　コラツクス　井セキニフス
スソノ末　ノヘノ古ツナ　ミドリノ洞　夢　花ノ枝

神道山　伊勢

千載　高野山を住うかれてはいせのくに
二見のうらの山寺に侍りけるに太神宮の御山をハ
神路山と申大日如来の御垂跡を思ひてよみ侍りける

ふかく入て神路のおくを尋ぬれは
又うへもなき峰の松風

百枝松　月　柳　霞　紅葉　旧跡
三レメニミモル花　木綿　杖　麻　茂　岩根ツヽシ　下紅葉

可年志太　百古　未勘　[illegible]

[illegible]

隠山　百古　伊賀

隠池　名未勘　ウキクサニカクレノ池ノウモレ水
フラ人ハ下ニ下ノアリ　明　非名所　夫山ノ松

[illegible]

隠川　百一　未勘
百八　小池　萩　霞　紅葉　ワキハサ　池月
槿　麻

石隠山日未見文化名不見

[illegible]

隠愛津　夫二千日　未勘

[illegible]

加谷鳴　百十一　未勘
麻　川　紙中　丸家　新今

[illegible]
フチセモミエヌカクミカハカナ

萱津泉　夫二十三　尾張　花

[illegible]

可也山　百十五　筑前
香山　対子　名五八七万葉　許訛出シ
長明　万十　カノ山ニモ井タチヒキオホハ　アヒミシコラカコヒシカモ
勅撰名所類聚郎

[illegible]

萱地　夫二十　未勘
石山地　日本紀

但萱アル地ニテ非名所也　名筑前

[illegible]

神室　山城

千載　[illegible]神田乃宮比稲[illegible]
[illegible]へし

文治田村

拾遺　ちはやふる神のをかなる姫小松
[illegible]

夫木　松　夫木

か
池ノカコモ　カサニサス山多ノコ　白川ノナミ
六月祭　西ノミカトノ石ノキサハシ　キシン社舎
ヒメ小松　白川ノ神ノ祭　鳥

神山　山城

ラ詠　詠ハ茂石清水神ノオハスル山ハ何国ニモ

拾[illegible]　椎[illegible]卯月[illegible]神山の
[illegible]

卯花　郭公　椎　橘　葵　松
日カケ　椎柴　雲　榊　宮　杉
月　木綿　[illegible]淀川

竃山　美濃

夫木国防又筑前式美濃と

文二十　[illegible]山乃日[illegible]
[illegible]

竃山　紀伊

牟呂郡　五瀬命葬地

竃門　筑後

[illegible]
[illegible]

猿舎山　土佐

又九　[illegible]
[illegible]

此所ハ[illegible]人の猿舎[illegible]
[illegible]
右猿舎[illegible]

かはのと　[illegible]

夫七一　[illegible]
[illegible]

天[illegible]舟

紙屋川　山城

か　[illegible]
ミチノ[illegible]　ニサキノカツラ　杭　コノテカシハ　葵カル　シトアラノ
カツラ　[illegible]　音
[illegible]
[illegible]

古今　[illegible]
[illegible]

神南備　大和

古今　神[illegible]月[illegible]
[illegible]

山　川　杜　霞　[illegible]　五月雨
郭公　桜　月　[illegible]　木綿　[illegible]
[illegible]　[illegible]　雪　[illegible]　[illegible]　三ヵ山

か
[illegible]花　笹　千鳥　松　[illegible]　柳

[illegible]川里　[illegible]

かはかみ　周防

源太府集　周防の[illegible]
[illegible]

夫三十一　[illegible]
[illegible]川の[illegible]

冠柳　カラツリ　播磨

[illegible]冠柳[illegible]
[illegible]

加古川　播磨

景水　[illegible]

夫十四　[illegible]
ムスハトモスシクモアラズ夏ノ日ハテリコソニサシカケナシノミツ

[illegible]人の[illegible]この川[illegible]

神南備山 丹波

ミカキノ山 巌 山代 十ち 〜里 古々
君 ナラ 〜里 トカノ木 イハセノモリ
ナラシノ岳 ヨフコトリ 〜岳 山ノエテル石
清水 山ノセノ水 ハラヘ 石田 〜浦 ミシヤ
桜 〜ノ神ヨリ 板枚 柳 〜国 トノ 乾 カキツ田

日
千載
村千里

神南備杜 摂津

神笵山 紀伊

神嶋 備後

柏木杜 大和

加胡浪 加賀

風早 伊豫

風早浦 安芸

風莫浜 紀伊

笠取山 信濃

笠縫里 美濃

笠野 摂津

笠山 大和

鹿嶋

かカスカ山　預　下野　紫藤　ぶろ沙

常陸

拾遺　かしまなるつくまの神のつくつくとわかひとりこひをつみつる

アラレフリ　鹿　嶋　ー卯　常

万　ー戸のやまのくえこのやてこ　若の海ハたゝせ　まちわひ

鹿　カミヘカタ　嶋サキ　ー浦　松原　松原

山モナキー　ココメハカリノ〇ル　千鳥

宮　嫩　松カ子　サミヌリ舟

加嶋

玉葉　陸奥

わくらくも忘れて思へりけるあさくら川の流をぞやし

香椎

続古　橿日浦　氷切紀

笠間嶋

笠间　大和山辺郡　常方築天ニミスー　沙ノナカリ口ハフリヨシ西サイカテトハミシ　其山麓セラヒ　又ヨコシー里ノモケハ叶白の先ノハしこ符

夫二十三　周防

あしたゝさすの浦を吹わたさかのこさりふすかのらん

能因哥枕かさ松ノ浦

笠嶋

万十二　陸奥

わかみそ

草かけのあらいのさき乃かさしまをうつやとそもみちこゑらん

秋のしれあらあのさきのかさしまを月にいるらけをあし

笠沙茅原

沙石小茶碗

大和　深下頗

植つきる田中の杉やとりやてよかさの沙茅原をてゆきこくかさつアとりやとりなすふかさのしよ

加佐米山

夫木　西忌人之紀　備中

天か下さかめの山乃茅原まてあのかくにかくそあやねよ

今案

ふりかのかしひのまかれ松のそことこひつさすこよ若そきこ

神　冈　茂　若菜

秀　アヤ松　霞

甲斐根

甲斐

かん　秀　茂　アイ待ツ　若松松　ーーカサシ

嫩　カスヒカタ

古今　かひかねをねこしやこし吹風を人もかもやよとつてやらん

雪　白根　サヤ中山　荒ら

かミ坂　松　時雨　ーー山里　山梨園

山梨花　霞

人丸集甲斐スヘ備テシルノカヒコノアルトキハコレカチ世ハシ物トヤハミル

加茂

古今　山城

ちはやふるかものやしろのゆふたすきひとひも君をかけぬ日はなし

挿頭山

カサシ

夫二十　参河

山下茶市卯

あのはれさしの山乃さくらをかりふさそ西つけまさ

鶴橋

夫二十一　周防

夫木云能因哥枕為出雲云土佐

天河雲まくそもさらされてたえとをかりかさまいれてし

限山

カキリノ

備中　上総

つくあにまたとみえ世中る今ハかさりのまいりらん

垣津田池

カキツタノイケ

万十二　大和

ことあ　頗

ここさいの流さくらさかりつさの池のつくれぬとかるへ

垣津谷

カキツノタニ

越中

楯山邑茶たさ

社 川 神 葵 桜 月

雪 千鳥 駒 松 篁 山 本歌

一ね川

口ケ雷ノ非

今 神示 涙 一 三アルノ大車 乱竹

川人 一川ヲフセク日 堤 音鳥 岩井 神

音 ミトシロ田 蕨 鮎 ヤナ サカキ

紅葉 鳥 谷ノミタラシ 芝 瑞カキ

改名為宮川 天平十五 八月 アニノテコラ集ニ 稔明 スソノ葵

又風六十二ヲ乙ろそ 麻道 二条ノ松 サキ 御京

秋田をうるの川せにこぬ〳〵せてこれもちとせをよるの川舟

橋 夫 卯花 アヤメ 古木ノ標 橋衣 氷雪

麻背山

山城

古今

ミせこいてはてさえのり泉川

川風さむし衣かせやし

雪

今 小坂のうへ 鶯 都トナル 涯か山ハし

ミモロツリイ 花 ウミヲカクル 郭公

八百十九首

日さこ

こゝ川てそらひるゝまつわせこか

いさよ川の岩るあけさん秋のさ枝よ

いくはりし日をつれてさ山川の

うさらの若るなるこりらん

十二集

亀頭

カメノカウヘ

亀上山 夫木 仙境

郭公 万

蒿

名ノ 文字あこ出し

亀山

カメノヤマ

拾遺

山城

名隣志云加茂法山

こゝのおもあれるひろことこいて

わるくもなろあつる

松のもとあそおれつゝのよりれ戸

あののきるさそはらん

神村山

亀渕 未勘 カメカフチイカナルカミノチヒロミテ 夫木集 ウキタル橋ノナカレサルラン

五社為そ

備中

神小濱

夫二十

大こ

保考

岩 掛

土佐

栖山為集 神ゝ千日回出し

ちはやふるゝむ山のたひしその

いやしのたいのりまもらん

春日

大和

古今

うすのとけふはやこそ若菜の

ほともこれりこそこれり

神 杜 社 山 野 原

里 蕨 若菜 子日松

若菜 衣笠 霞 鶯 柳 花

葵 郭公 雉 萩 萩 麻

門 鳴 鳴 音 月

藤 若菜 垣木 黒木 梓 垣木

鶯 特 本歌 雪 佐保

三笠山 ■ 若実

今 清水御と神ハし 一中日 一ノナルハ今般

ヤマカシハ アヲカシハ 一川 ミタラシ

杉原 樫 松カサ 八ヲトメ

カスカノヽアサ海ヲノ 一ノナル神垣山 兄ツサ

神之手

カミカテ

神垣山 伊勢 夫十四七社 為天為家

万六

紀伊

チハヤフルカミカチ山ノシアノ葉ハ天テルアキノホシカトツミル 今案神ノオハ大山ハイサクラセヘ尸元

大穂乃神のをハアハセハれとこし舟人もよくといふるる

塩ふくいるせんとゝるつゝ乃

かくうてつるあかれてなあこ

神渡

カミノワタリ

万七

仁保万

八中

未勘

栖山飛鳥なと

かこるや神の日うかハかせもの

にはふるす立陵も物わまかハすす

神社

神前倚山 備中 チハヤフル神ナヒ山ノシヒ原ノイク年ノソニイリ一ヲラン 石保為人年大学を許と 名家出し

万十三

在日宮日方 入りか

神國

日本國号

大干

神ふるしまあいりと定め神もて

こゝのまゆり乃うきうつるのかや

神山

拾遺

さるのみてこ舟にてゝふる神山乃

沐木 ウツフサクキ 氏人 柳 菫 柘子 フルキ氷室 山吹 菌 槿
池中フル屋 榣 白橿
以上公叙
アハ コナキ リス エツルハ ミ田
オトロノ屋 菱 氷 水屋 ツツキ 焼尽 庭花
夕立 石ノ竹 ミ池ノ杜 ムサヘヒ 菱ノね 屋ノ芝

霞谷

山城 但霞の谷とよみて地名ニ

古今 歌

草の花 霞の谷をみそ
ちりぬる人も すてぬらん

霞浦

常陸

天乃霞の浦に 千鳥のなく
うそにも みそぬ人を恋て

新撰櫻 東ナルノ
五和櫻 ノ あしのいさり火

夫木 六帖 霞浦 但霞沖云霞浦日本フミノ
名寄云或云霞倚武蔵也今案霞浦先達所枕歌山家集入之

霞実

花 三ル 藻 橋貝 東ナルノ
明日ニテサエシケシキヲ引カヘテ 夕ツケナリ

赤染 一読武蔵

続千載

松ならて くいさそ 千まとの霞白ヾ
立稼のうちて 志りしとめん

花 読文蔵

このはも 霞のさかにて 出かふる
後のなかと まかれん

兼文蔵 又読後のうちこそうちさ 菜
千さと これさしにんをたかゆ 歌

名寄云只読夫木付日名叙トテ霞浦ノ次ニ入

神乃滝田

みちよそあか
名月夕月照てうつれ
わ さしみれたし なかりん

みちよ 大

昔きく 立たまの田の積むれ
うのしにめやそ 今さつむ

神南山

伊勢

又本 又本神南山と 方け それとしとらん

秋さや さら紅葉山ハ色ぬく
ありしの子の子のいさり火

神坂

赤染 橘出或云肥後ニ

百九 多くふのく小乃しこ屋の
こさかた 紅玉のこゝとをむつに
ちりやゝうち さらうたね わかつ

神子石

周防

日九 いふ乃 れハ地にて 色

いなゝゑのゝ 沐のころ名あるしいろも
こらおきのみちさちへ せよ

柏原

名寄

上津 栃原 拾乃仲集ニ出所 水ノ処ニ出ス

和名伊香歌

ぬれ宿いろを
出ひくる山のをそのうし ハさら
わくた まて 霞のてんのみ

橿原

大和 古今歌 畝傍山東南にと

万一 玉タスキ 畝傍ノカシハラノヒシリノミヨニ

日九 ししの あひの宮 おいらかてしきまて
新撰 はばにこひして 吹れたる
あまとか とかうけて かりての
まひの川わ やうくらぬとことく きて
まへさそへそれ しりの そや

柏野

名寄

伊賀

アハ 読 山出杉竹 川出鮎 鮒

あら山のこのてうしての ふか乃いち
うちもうわも 君かまう

鹿嶋

紀伊

口古歌

小弓 私嫡集(?)
イカサニニヨトカアニクカシニナルイク田ノ浦ノイクタ杜ハ
イク田ヲヨミアハセタレハ此か語ロ不元

〆 万九
[illegible]

加鴻 数(?) 摂津(?)
[illegible]
西(?) [illegible]

香鴻 万十七 能登(?)
和名抄 能登 [illegible] 熊木 [illegible]
[illegible]

揺生(?) 大和 吉野郡(?)
古事記 日本紀
[illegible]

可思布河 万十一 筑前(?)
[illegible]

忍坂 万六 大和(?) 天武紀 [illegible]
[illegible]
此歌 石上乙麻呂 [illegible]

国府池(?) 大和(?)
[illegible]
和名 [illegible]

甲斐川 伊勢
甲斐 八九集 [illegible]
[illegible]

鴨山 石見

一万二

風宮　伊勢

かみ山のいそのまつかけをとふとき
ちはやふるいつかたつてあらん

夫木三十四

けふこそはたゝしなてもよそにみん
こゝろと風のこゝやまさらそて

風杜　夫九二

紀伊　夫木　俊成

うみなみ風のかなつさわるなか
さしもあらうをとまれくし

加須の宅　夫三十一

歌枕　夫木

霞よりうすまの空れさく行るか
山辺らはれなちやしぬらん

霞谷　古虎

陸奥　但霞の浦をよみて地名不

あさら山みちの谷しふりはれて
ゆらかれ谷のそらしてたるし

霞洞　夫木ニ出地名不

霞里　右陸那何歌香澄て
但了英今歌香依　加須宅
歌枕一　裏キテハ花ノミヤコシ ミテモナホ
カスミノ里ニ心シソヤル

霞沖　摂津　但霞の浦とよみて地名不

夫木

あたらなやあかねのいりまれ
うすまれ沖よりもなかせ

棊皐　山城

夫廿　阿りらのきつくゆへてかなかし

甲賀山　近江

歌名

人丸集

秋きぬとふなのやまふきりを
ゆくそらつかさなる

此歌人丸集にハなし夫木九に出夫木にかふとし
あり甲ハかふノかるかれも和集人丸集にちかひて
かのまゝ入

加く　出宅
・萬葉所紀
アハレニモイマタチヨノムアラノテノ
カンノワクリヤハナレサルラン

からくその杜　山城　喜昌考

枕草紙ニ杜ハからくその杜　拾遺ニハ未詳　此ニ入
今案ニみけふのふり記中若宮領の西ニ云ゆかれて
いうふさらりこうくの池泉河りめくらしよ
たゝりてあるところもあれまのこ埋れしたとふつて
是ゆつてといふと埋れしと物さびしくまたりこしふに
まうれてあるからくそのもりニ車とゞめてゆくところと
のかれよこれ人のむらうまけなりこと
日本紀ニ云天長八年二月戊寅新築山城国紀伊郡香達（カウチ）池百姓所頼也　又但馬ニ示ふちふ乃しう
からくに志め給し　ましたしゐ事を　あかれなりふ　此のからくその杜ニあらんとミゆ
香達（カウタテ）トモよひけるにやあらん

神戸国　伊勢　桑名郡
風土記云此山多出桃花少其実大如鶏卵　畧文
食之無病

河内郡　同

同此郡廣方二里　平岳神社一座奉崇

膳森（カシハテノ）　同　多気郡

同此杜在鞆尾村西一里無社無樹木唯有
一廟祭大己貴神処也土人毎歳落梅時
供神膳此処四時無蚊蛇

川瀬郷　尾張　海部郡　風土記云上農

樂田郷（ラクタナテン モシラク）　同　同

川口郷　同　同　同

鹿瀬山　同　中島郡

同云出狐狸鹿在神戸放田見社不祭
少彦名命也

神戸　同

同云在中嶋北出粟麦亦有神号早田
宮天照大神御在所也

河内郷　日　羽粟郡　風土記

籠郷　日　中島郡　日

川乱郷　日　羽栗郡　日

上望郷　日　日　日　上嚢

春日郡（カスカヘ）一本作郷　日

神戸山　伊賀　尾張日名

同云出松杉御間城入彦五十瓊殖天皇
六十六年不祭也天照太神垂迹也

柏野山　日　丹羽郡

河合山　日　日

同云出松杉又多異禽異獣有神号
神名帳薮田大明神武小廣國押盾天
皇御宇戊午國造多賀連祭之

椌木山　日　山田郡

同云有郡之東出松竹又有異禽

川原郷　日　日

同云土地瘦亡有旱水之患時々出橋梢
民家不用也

川向郷　日　日

同云有郡之東北多茱艸

賀羅押土郷　丹羽郡

同云有郡之西民用少土地瘦也出葛根
柴胡在神日賀羅押土社也穴穂御宇

奉崇也
注神跡者気長足姫尊也
出雲国造奉崇而也

川道郷 同 浅井郡 出和名抄 脱風土記

行山神社 同 同 同

賀美郷 和泉 日根 和名

同云貢粟菖粉蕨鮎鮒紫胡地黄

當帰木

神奇神社 同 同 神名帳 脱風土記

加支多神社 同上

香榎郷 伊勢 員弁郡 風土記出

川尻神社 遠江 ウチ郡

同云舒明天皇元己丑所祭王霊命也

香園（カツソノ）神社 同 イハタ郡 神名廉苑 脱其月乎

同云欽明天皇三年壬戌 自官園韓神

事代主ノ両神不祭之也有神家亜戸祝

勝間 御乎 同 蓁原郡

同云出松桃名橋木

行圀神社 同

同云孝霊天皇六年三月初不祭

任吉之神也

賀美鳴 或神鳴 駿河 ウトノ郡

同云有鮮鱗

賀美鳴之祠 同

同云雅足彦天皇五年乙亥五月被奉

官幣少彦名園神之二神也

海松院 同 同

同云安千壽中藏大像菩薩作像
天平二年丙午勅願也

香椎神社 日 日
同云所祭神功皇后也

蒲原 或神原驛 口 イホハラ歟 和名加無波良

向海寺 日 日
同云靈亀二年丙辰二月吉備右府開
此地安釈迦佛

迎仙寺 日 海每歟
同云神護景雲元年之願寺也修
密雄密山經之法

葛同 日 口 和名 加郁良万

川辺郷 口 口 日 加波乃倍

同云出楠杦松柏等

泊洦舍藏